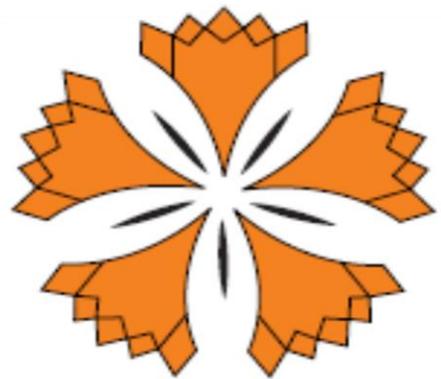


令和元年度  
浪速区民アンケート報告書



浪速区の花 なでしこ

令和2年3月

大阪市浪速区役所

## 目次

### 第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の実施	1
3. 回収結果	1
4. 回答者数と内訳	1
5. 調査項目	2
6. 報告書の見方	2

### 第二章 調査の結果

1. あなたご自身について	3
2. 区役所・区政について	5
3. 浪速区広報紙「広報なにわ」について	9
4. 防犯・防災について	17
5. 健康診断について	24
6. Aケアカードについて	29
7. 地域コミュニティ・地域活動について	32
8. 交通安全について	37
9. 福祉事業について	39
10. 図書館の活性化について	45

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

浪速区役所では、取り組みの成果をチェックするため、区民の皆様に、区の施策や事業などについて客観的な評価をお聞きし、今後の事業実施の参考としています。今年度は「区政運営」、「広報紙」、「防犯・防災」、「健康診断」、「Aケアカード」、「地域コミュニティ」、「地域活動・まちづくり」等についてお尋ねしています。

## 2. 調査の実施状況

調査対象者	住民基本台帳データから無作為抽出した18歳以上の浪速区民(外国籍住民を含む)2,000名
調査手法	調査票を調査対象者に送付し、返信用封筒により回収
調査実施期間	令和元年11月19日～令和元年12月3日

## 3. 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000	530	530	26.5%

※有効回収数:回収数の内、集計に使用可能なアンケートを有効回収数とする。

## 4. 回答者数と内訳

	性別					
		合計	男	女	その他 答えたくない	無回答
	合計	530	236	279	3	12
年齢	10歳代	2	2	0	0	0
	20歳代	54	22	31	1	0
	30歳代	103	43	57	1	2
	40歳代	78	33	45	0	0
	50歳代	75	35	37	1	2
	60歳代	83	43	39	0	1
	70歳代	92	46	43	0	3
	80歳以上	40	12	27	0	1
	無回答	3	0	0	0	3

## 5. 調査項目

(1) あなたご自身について	4問
(2) 区役所・区政について	3問
(3) 浪速区広報紙「広報なにわ」について	5問
(4) 防犯・防災について	7問
(5) 健康診断について	3問
(6) Aケアカードについて	2問
(7) 地域コミュニティ・地域活動について	4問
(8) 交通安全について	2問
(9) 福祉事業について	4問
(10) 図書館の活性化について	4問

## 6. 報告書の見方

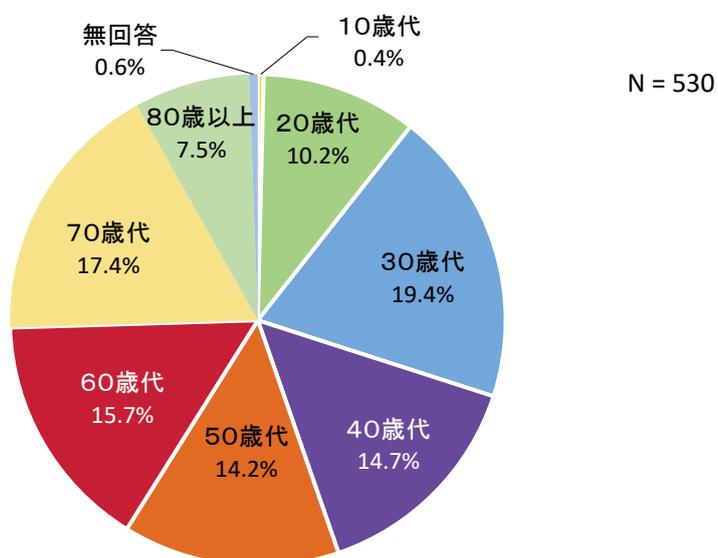
- (1) 質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。また、グラフでは、複雑さを避けるため、回答がなかった場合の「0.0%」の表記を省略してあります。
- (2) 単純集計のグラフには、設問の回答以外に「無回答」「無効」の2種類の区割りがあります。定義は以下の通りです。  
「無回答」… 回答がなかったもの  
「無効」… 複数回答を行う必要がない設問に対し、複数箇所回答があったもの。また判断がつかない回答
- (3) クロス集計の結果での比率(%)は、「無回答」「無効」を除外して算出しています。そのためクロス集計の回答数の合計と単純集計の全体数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは複数の質問を組み合わせることで集計することにより、性別・年代別などグループごとの傾向を明らかにするための集計方法です。
- (4) 集計結果は、すべて小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- (5) 複数回答可の場合、回答者数に対する回答の比率を表しているため、合計値が100.0%にならないことがあります。
- (6) 図表中のN数は、その質問に対する回答件数を表します。

## 第2章 調査結果

### 1. あなたご自身について

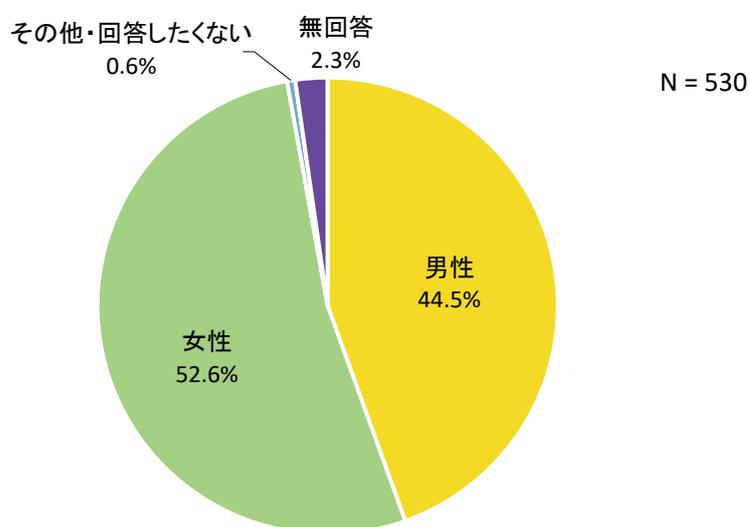
問1 あなたの年齢をお答えください

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳代 |



問2 あなたの性別をお答えください

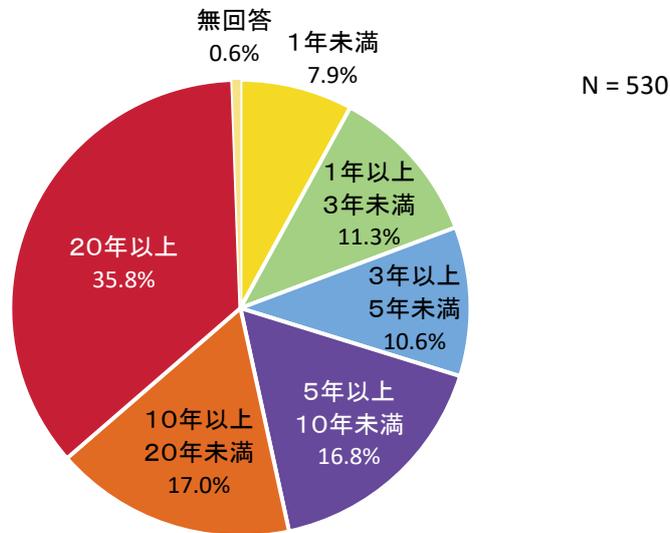
1. 男性 2. 女性 3. その他・回答したくない



**問3 あなたは、浪速区内に何年お住まいですか**

(これまでの居住期間を通算でお答えください。)

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満
5. 10年以上20年未満
5. 20年以上

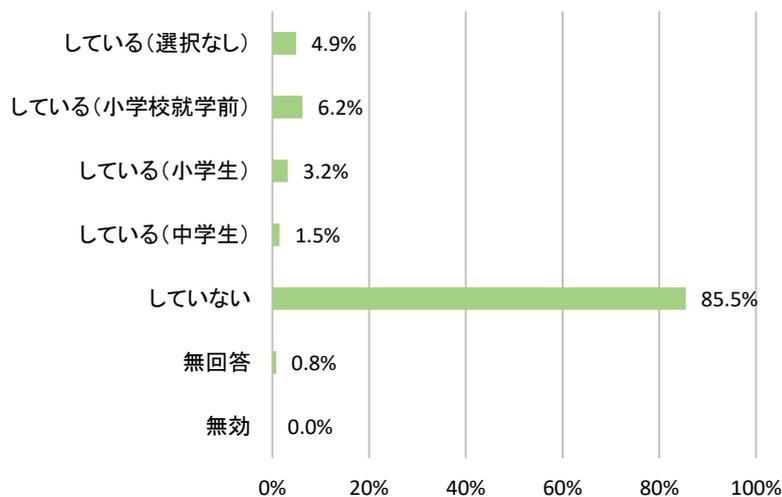


**問4 あなたは、現在、中学生以下のお子さまの子育てをしていますか。**

1. している(小学校就学前・小学生・中学生)
2. していない

※ している場合、該当するものすべてに○をつけてください。

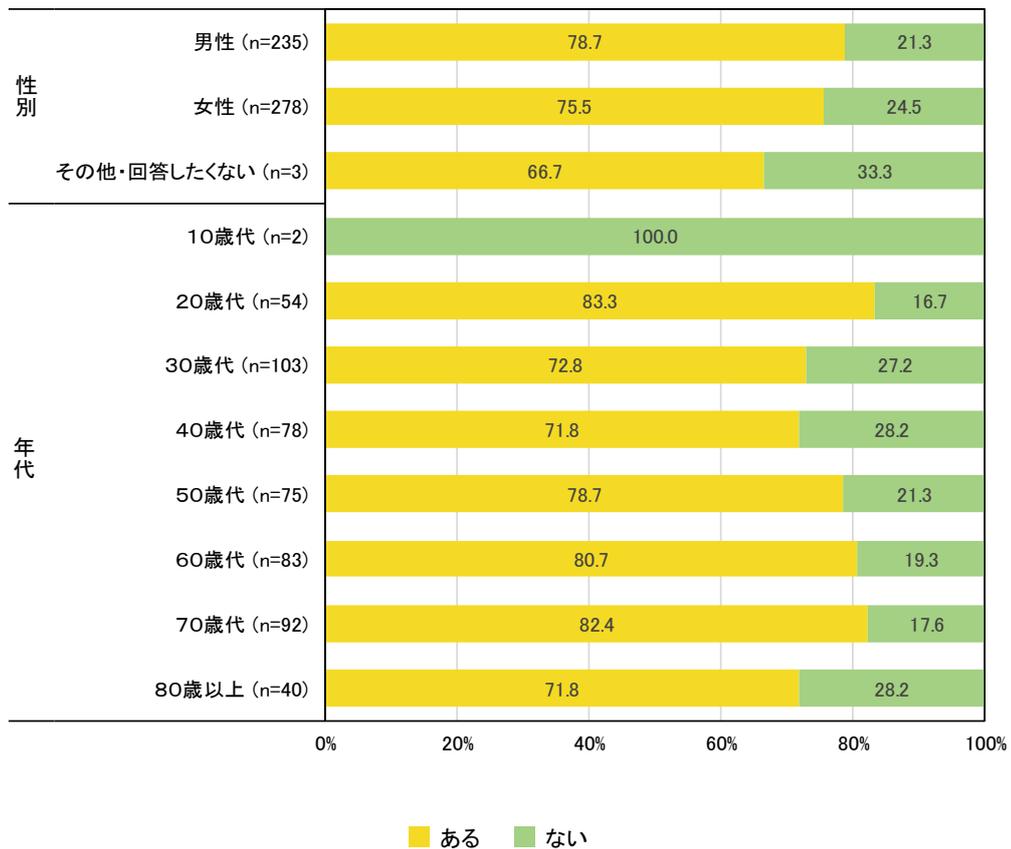
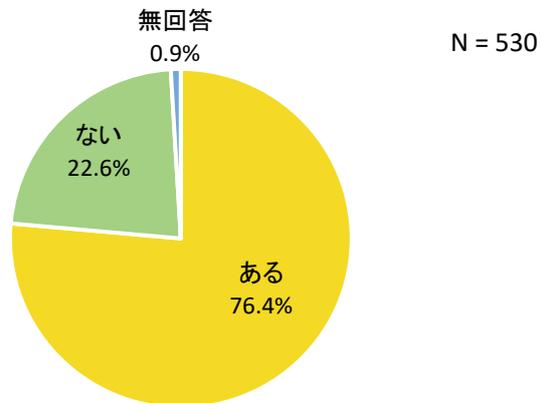
N = 541



## 2. 区役所・区政について

問5 あなたは、この1年間に、電話や来訪などで区役所を利用したことがありますか。

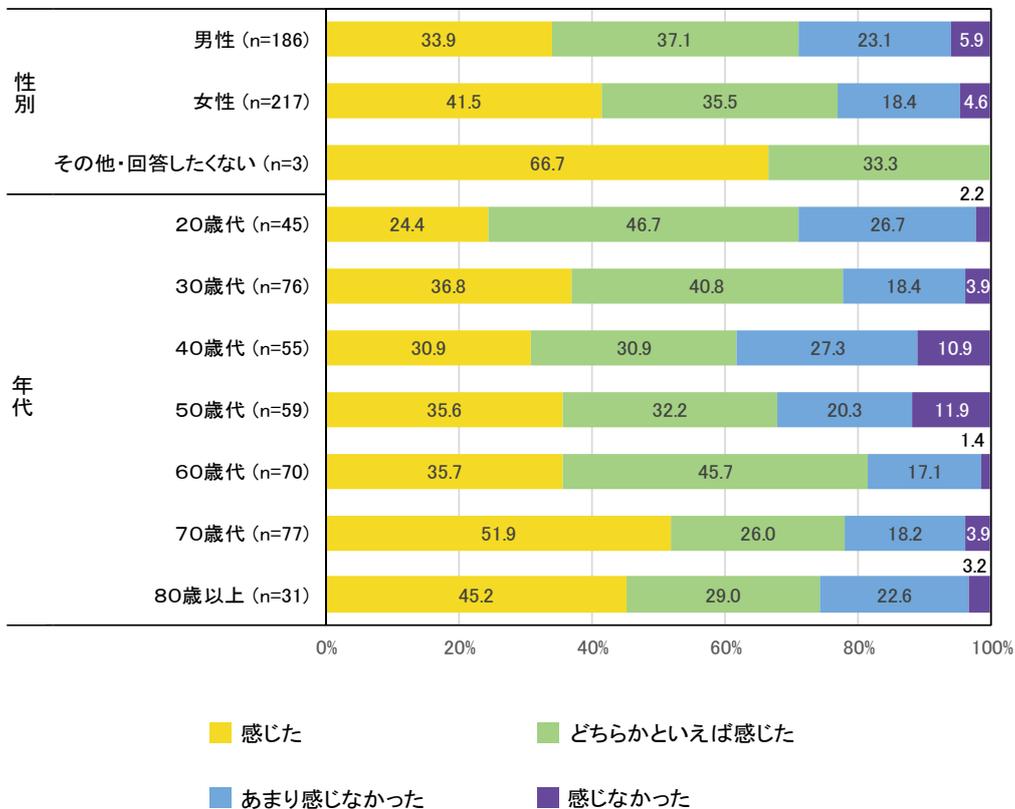
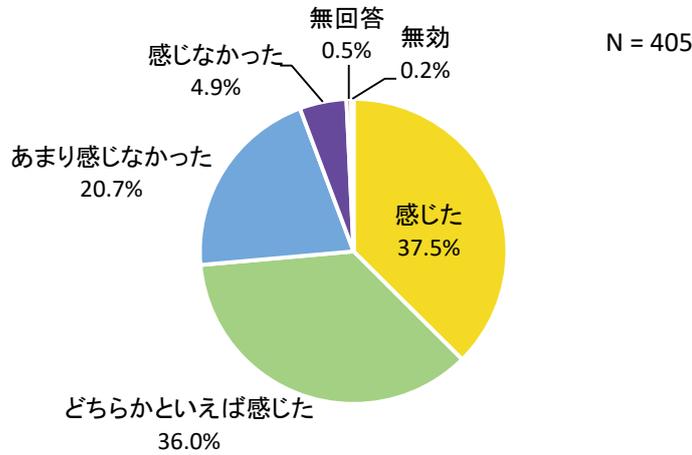
1. ある (→問6へ)      2. ない



全体では「ある」と回答された方の割合が76.4%、「ない」と回答された方の割合が22.6%となりました。性別及び年代別で見ても、母数の少ない10歳代以外はどの年代でも平均的な結果となり、広く利用されていることがわかりました。

**問6** 問5で「1.ある」とお答えの方におうかがいします。  
 あなたは、区役所を利用したときに、案内サービス、窓口、電話の対応について、サービスがよいと感じましたか。

1. 感じた                      2. どちらかといえば感じた  
 3. あまり感じなかった      4. 感じなかった



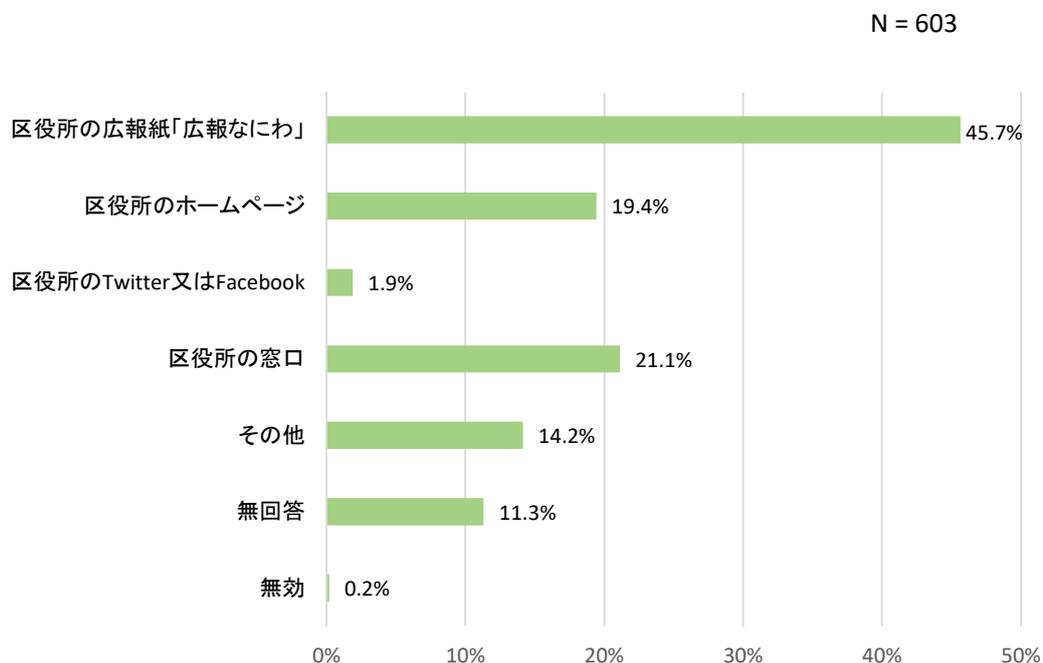
全体では「感じた」と回答された方の割合が最も多く37.5%でした。次いで多かった回答が「どちらかといえば感じた」で36.0%となり、両方をあわせた肯定的意見の割合は73.5%と、7割以上の方がサービスの良さを感じていました。

また肯定的意見を年代別で見ると60歳代の方が81.4%と最も多く、次いで多かったのが70歳代の方が77.9%となりました。

問7 あなたは、区の事業や施策に関する情報などを何によってお知りになっていますか。

(※あてはまるものすべてお選びください。)

1. 区役所の広報紙「広報なにわ」
2. 区役所のホームページ
3. 区役所のTwitter又はFacebook
4. 区役所の窓口
5. その他 ( )



全体で603件の回答がありました。区役所の広報紙「広報なにわ」から情報を得ると回答された方の割合が最も多く、45.7%と半数近い方から回答がありました。次いで多かったのが「区役所の窓口」で21.1%と、区役所の窓口が身近な情報収集の場になっている様子もうかがえます。

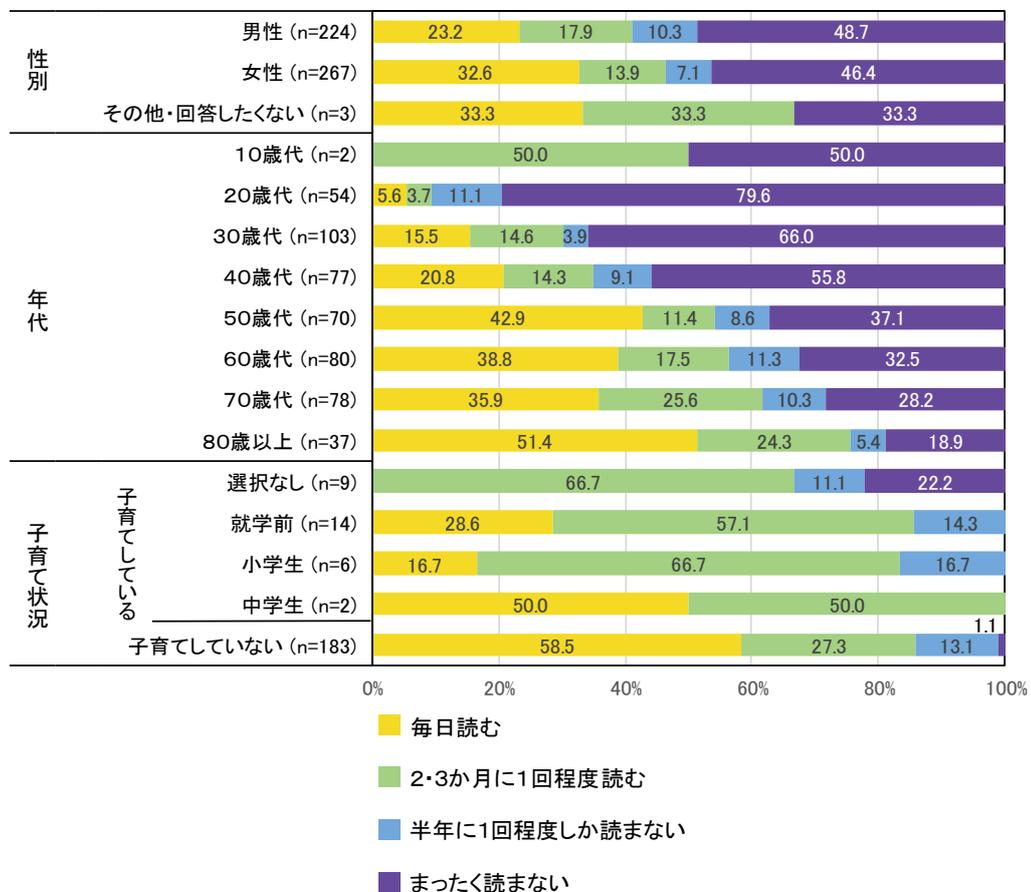
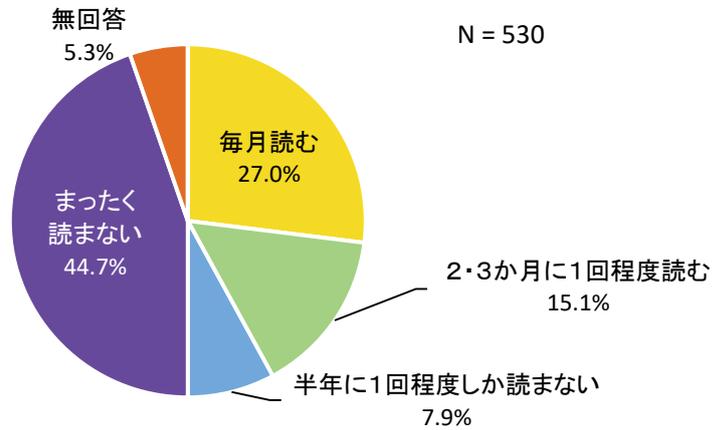
5. その他で頂いた解答

知るすべがない。
まだ情報を得たことがない。
わからない。
何も見ていない。必要があれば区役所のホームページを閲覧する。
知らない。
1Fにあるチラシ。
余り分からない。見ない。
なし。
プラザ。
新聞毎月1日の折込。
知らない。
テレビや知人。
保育園での配布チラシ。
手紙ハガキ。
回覧板。
掲示板のチラシ。
職員さんから。
夫から。
自分でネットで。
駅構内。
松井市長のTwitterで大まかに。
息子から(パソコン調べ)。
用事があるときだけ。自転車もバスもないから何も知らない。
地域。
知人・友人から。
くまさん介護。
町内のちらし。
区ではないが市長定例会見。
ロコミ。
あてはまらない。
ケアマネ。
街の掲示物。
町会。
近所の方から。
家族に聞く。

### 3. 浪速区広報紙「広報なにわ」について

問8 あなたは、浪速区役所が毎月1日に発行している、広報紙「広報なにわ」を読んでいますか。

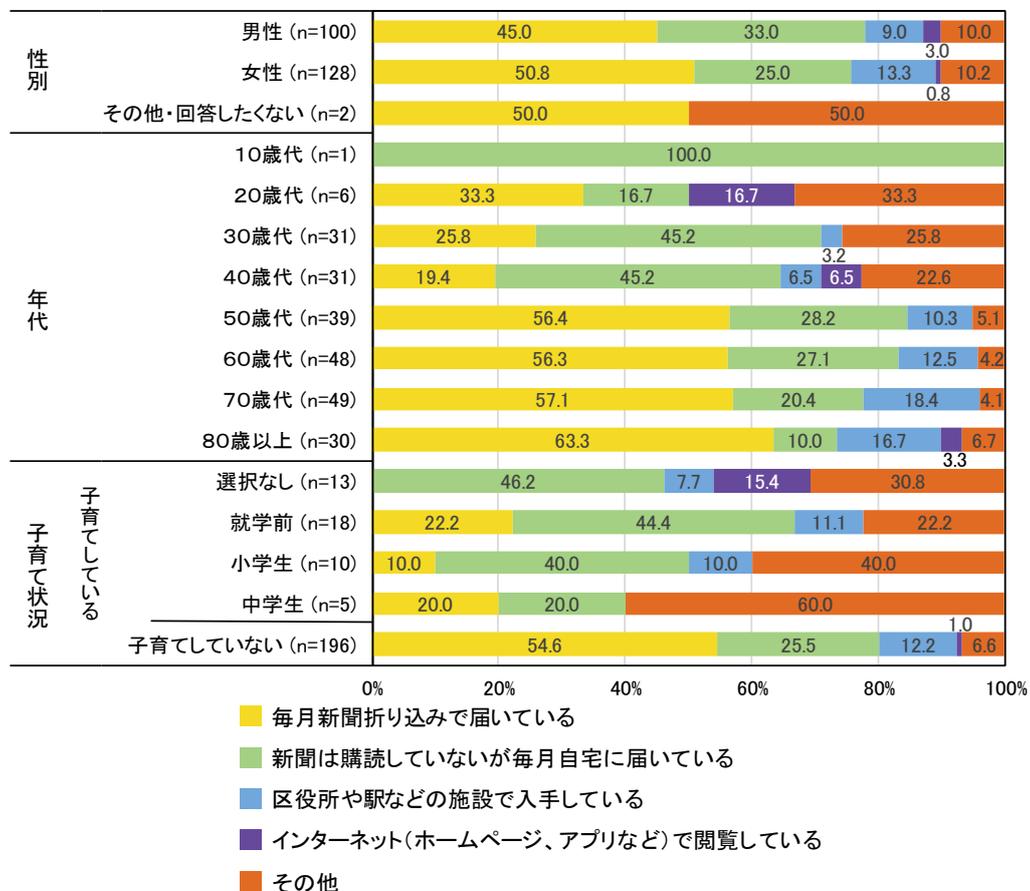
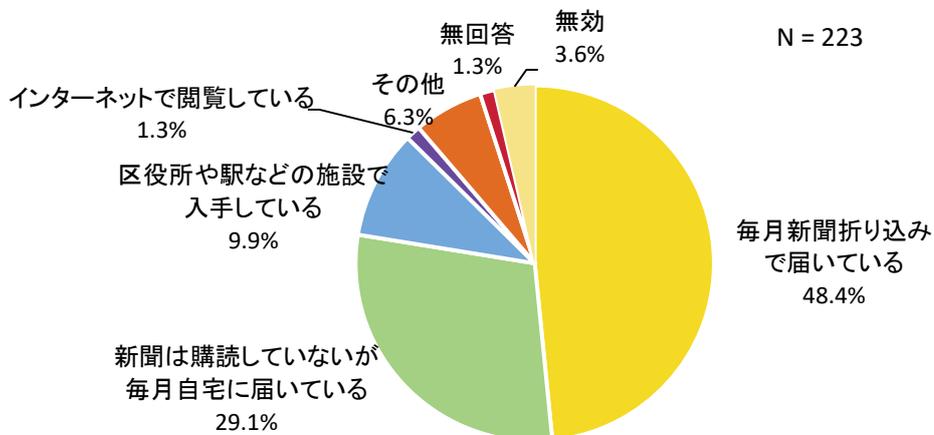
1. 毎月読む
2. 2・3か月に1回程度読む
3. 半年に1回程度読む
4. まったく読まない



全体では「まったく読まない」と回答された方の割合が最も多く44.7%でした。次いで多かったのが「毎月読む」と回答された27.0%となりました。  
 年代別では、「毎月読む」及び「2・3か月に1回程度読む」と読む頻度が高めの割合は、50歳代以上の各年代で過半数を超える結果となりました。

問9 問8で「1. 毎月読む」「2. 2・3か月に1回程度読む」とお答えの方へおうかがいします。  
あなたは、広報紙「広報なにわ」をどのような方法で入手していますか。

1. 毎月新聞折り込みで届いている
2. 新聞は購読していないが毎月自宅に届いている
3. 区役所や駅などの施設で入手している
4. インターネット(ホームページ、アプリなど)で閲覧している
5. その他( )



全体では「毎月新聞折り込みで届いている」と回答された方の割合が最も多く48.4%でした。次いで多かったのが「新聞は購読していないが毎月自宅に届いている」と回答された29.1%となり、77.5%の方には毎月手元に届いている結果となりました。

また、子育て状況別では、子育てしていない方に比べ子育てしている方の「その他」と回答した割合が多い結果となりました。

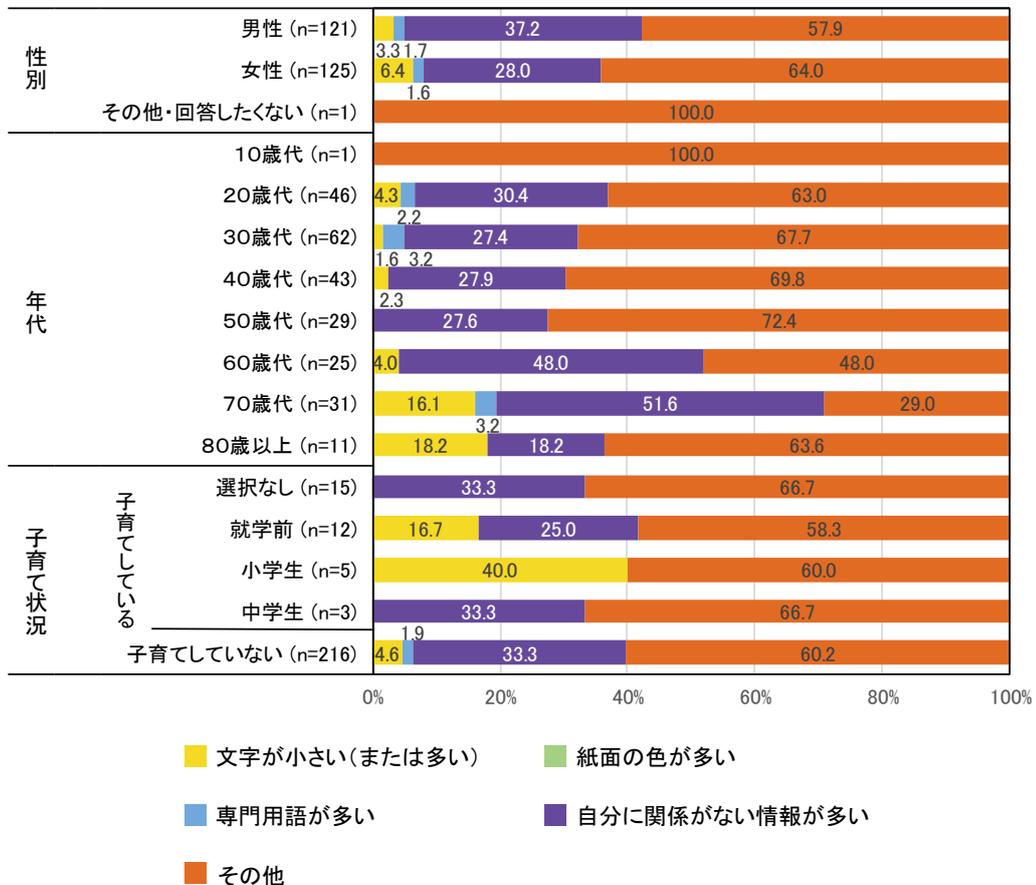
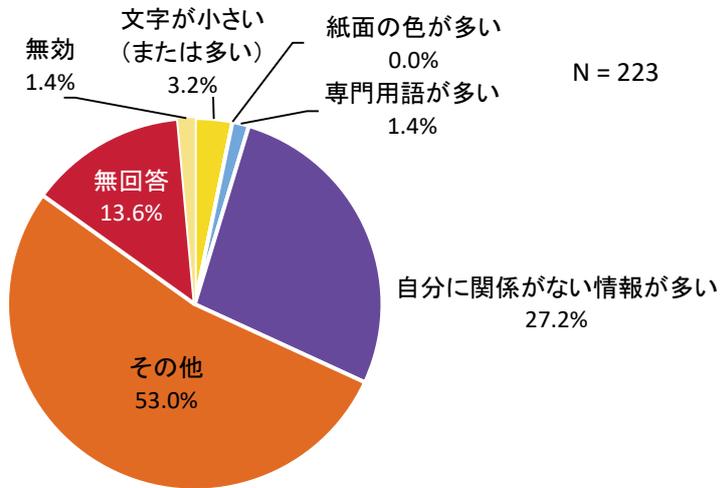
5. その他で頂いた解答

届いていない。
学校配布。
知らない。
回覧板。
保育園からもらっている。
娘たちが持って帰ってくる。
毎月は見ただことない。
小学校から貰って帰ってくる。
医院の待合所。
かかりつけのクリニック。
老人福祉センター。
入手していない、知らない。
マンションの掲示板。
見たことがない。
全く届いていない。
病院の待ち合いなど。
郵送。

問10 問8で「3. 半年に1回程度しか読まない」「2. まったく読まない」とお答えの方へ  
 おうかがいします。

あなたは、広報紙「広報なにわ」を読まない理由は何ですか。

1. 文字が小さい(または多い)
2. 紙面の色が多い
3. 専門用語が多い
4. 自分に関係がない情報が多い
5. その他( )



全体では「その他」と回答された方の割合が最も多く53.0%でした。次いで多かったのが「自分に関係がない情報が多い」と回答された27.2%となりました。

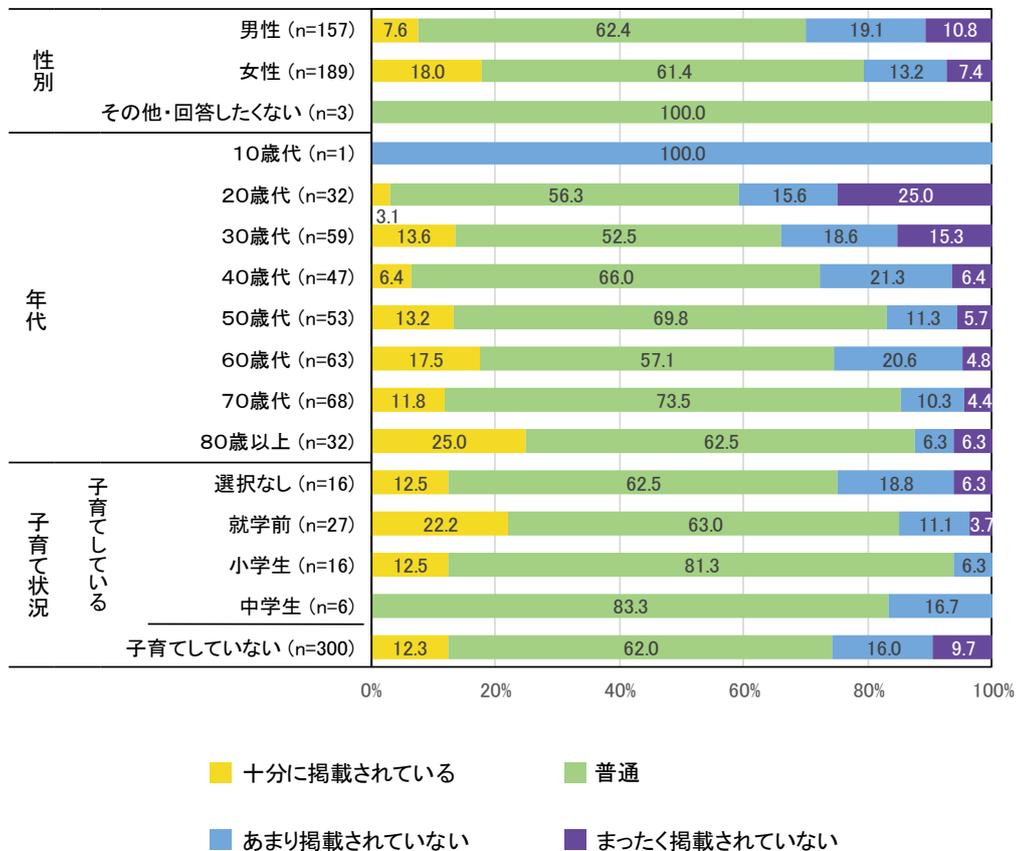
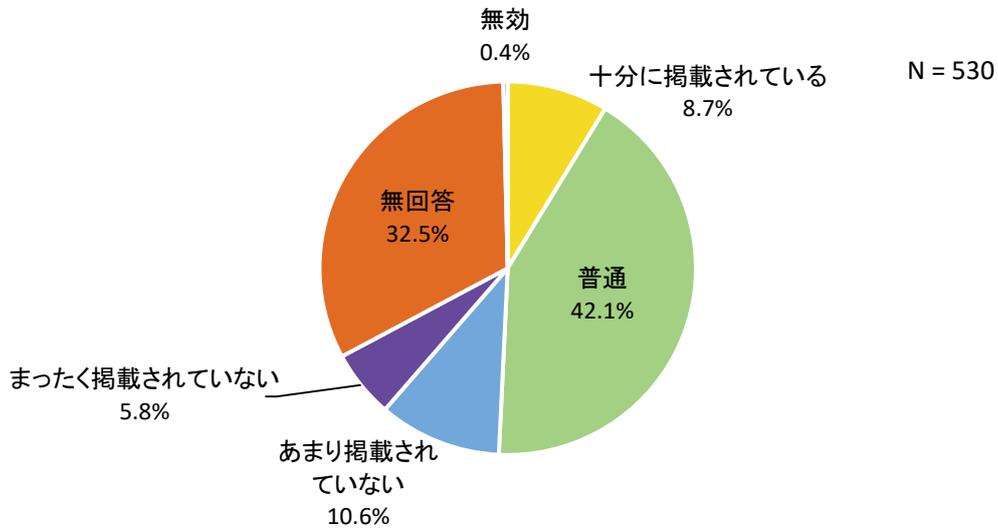
また年代別で見ると60歳代や70歳代の方が特に「自分に関係ない情報が多い」と感じている方が多い結果となりました。

5. その他で頂いた解答

見たことがない。
広報紙があることを知らなかった。
どこにあるかよく知らない。
届いていない。
どこにあるかも掲示しているところも知らない。
多忙のため。
スーパーなどよく行くお店においてほしい。
目にすることがあまりない。
手に入ったことがない。
「広報なにわ」が何か知らない。
ポストに入っているかわからない。
あまり手にする機会がないから。
区役所に取りに行くことが大変なため。また新聞未購読なので届かない。
郵送の手続きをしていない。
気軽に読める場所(掲載)がない。知らない。
見つけたら読む。
入手する機会がない。
忙しくて読めない。
帰宅から寝るまでの時間に余裕がない。
英語ではないから。
興味がない。
年寄り向けがない。
何となく。
区に満足しているから。
区役所に行く時はバタバタして、読む間がなかったから。
今時紙媒体でばらまく事がナンセンス。税のムダ。
難しい漢字が読めないから。
妻が読んでいるため。
日本語が読めないため。

問11 あなたは、広報紙「広報なにわ」をご覧になり、役に立つ・関心がある記事は掲載されていると感じますか

1. 十分に掲載されている      2. 普通  
3. あまり掲載されていない      4. まったく掲載されていない



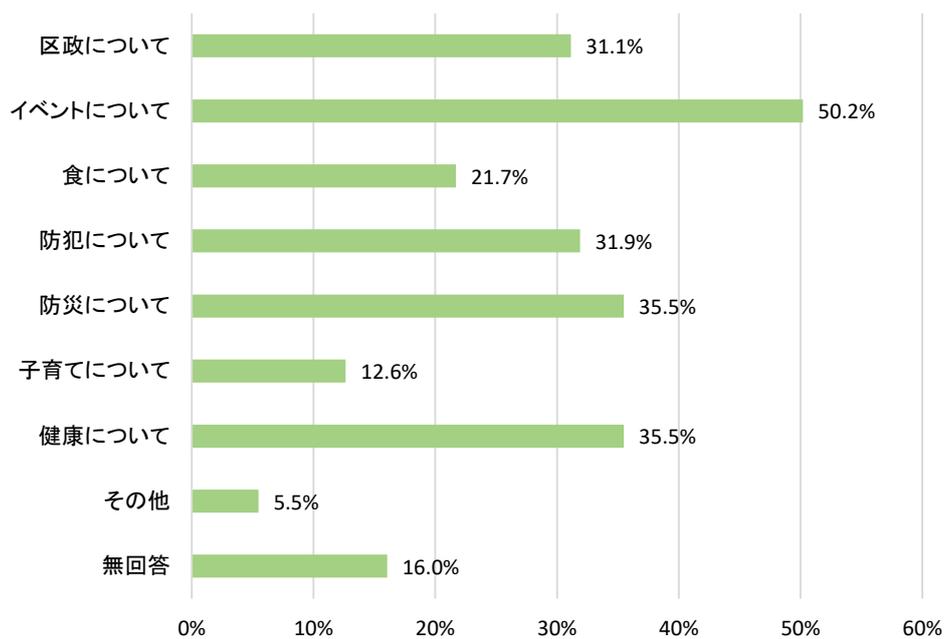
全体では「普通」と回答された方の割合が最も多く42.1%でした。また、「十分に掲載されている」と回答された方をあわせた肯定的意見の割合は50.8%となり、過半数を超える結果となりました。また性別・年代・子育て状況、全てにおいて肯定的意見の回答が多い結果となりました。

問12 あなたは、広報紙「広報なにわ」にどのような情報が掲載されていたら読んでみたいと思いますか。

(※あてはまるものすべてお選びください。)

- |           |             |            |
|-----------|-------------|------------|
| 1. 区政について | 2. イベントについて | 3. 食について   |
| 4. 防犯について | 5. 防災について   | 6. 子育てについて |
| 7. 健康について | 8. その他( )   |            |

N = 1,272



全体で1,272件の回答がありました。「イベントについて」回答された方の割合が最も多く、50.2%と半数以上の回答がありました。次いで多かったのが「防災について」及び「健康について」で35.5%と、自分の生命に関わる回答が上位にあがりました。

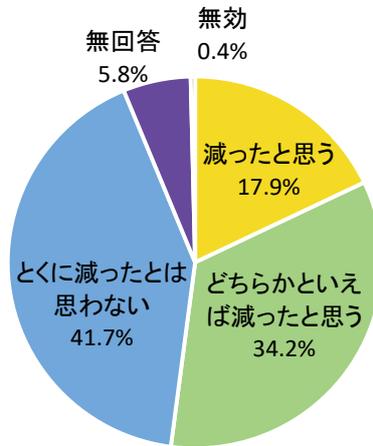
5. その他で頂いた解答

全て載っている。
広報紙に税金が使われているなら、必要ないといきようがないです。
全体的に子供新聞のような内容のうすさ、幼稚さを改善して頂きたい。内容を悩むなら発行を年2回、4回に減らし、その予算を別の事に使ってください。郵便代もすごく大きいと思います。
猫を飼っているので猫情報。
個人的に年齢の生きがい。健康等々。
国がフタをしたがる情報。
質問など意見が言える所。
色々困った時のHOW TO。
大阪都構想をまんがで毎月分り易く掲載してほしい。
近隣区の情報など。
地域の成長について。
各協議会の本質が不明、特に資金について。
IT普及率(インフラ整備等)について。
新聞の4コマ漫画、クロスワードとかあれば、毎月…とは言わなくても読みたい気持ちが増えるかも。
研修会。
空家情報。

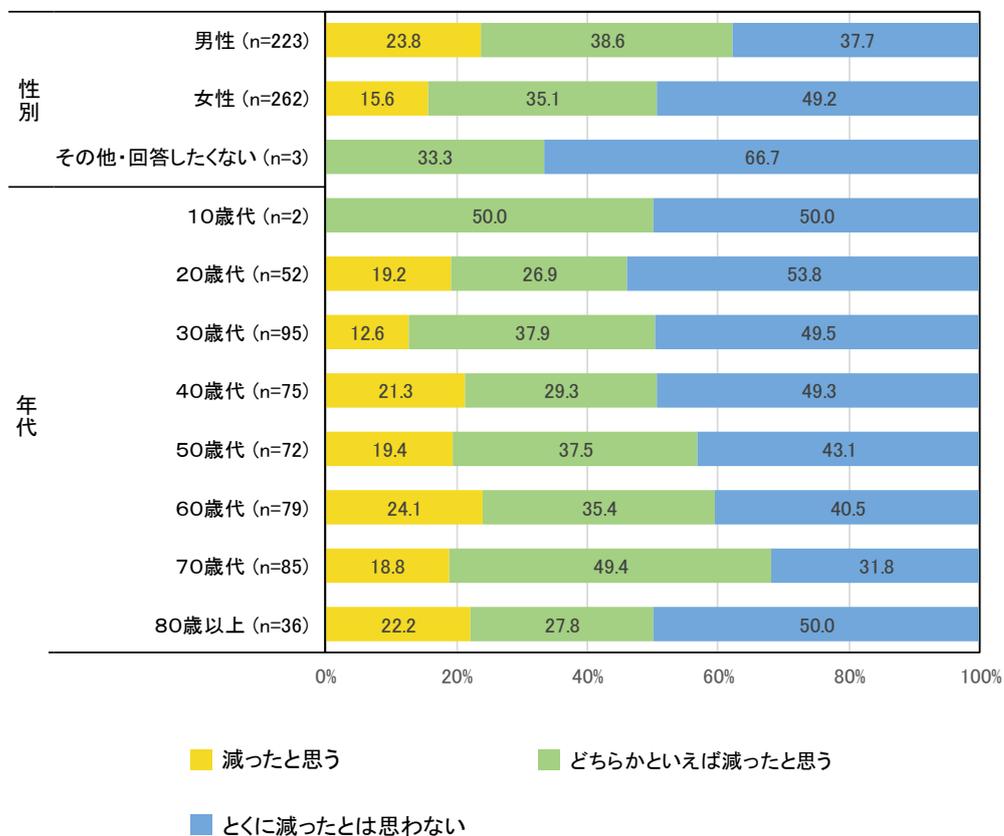
#### 4. 防犯・防災について

問13 あなたは、以前に比べて、区内の落書きが減ったと感じますか。

1. 減ったと思う
2. どちらかといえば減ったと思う
3. とくに減ったとは思わない



N = 530

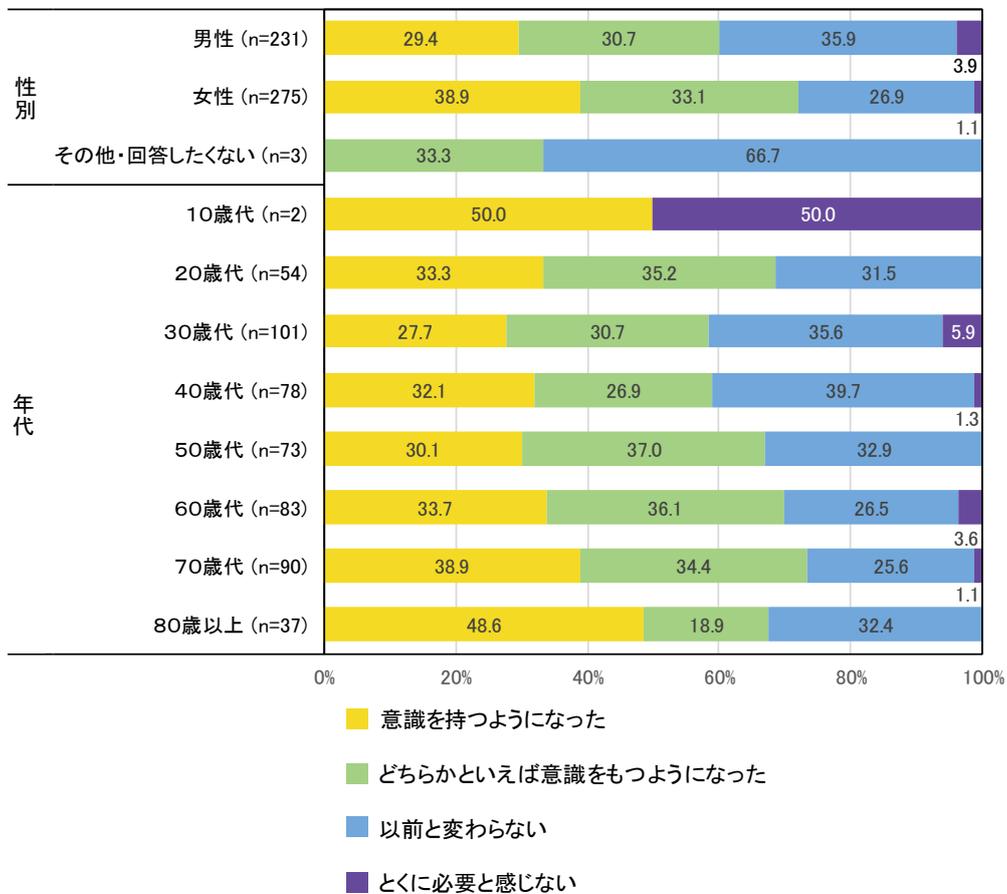
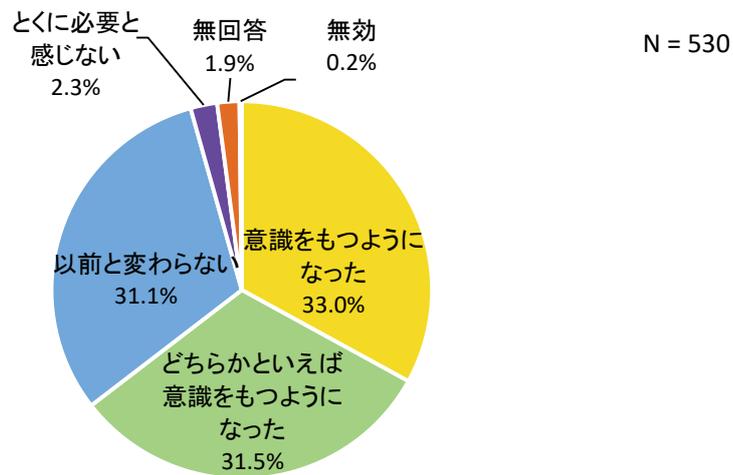


全体では「減ったと思う」及び「どちらかといえば減ったと思う」の肯定的意見の割合が52.1%となり、過半数を超える結果となりました。

また肯定的意見を年代別で見ると70歳代以上の方が68.2%と最も多く、次いで多かったのが60歳代の方が59.5%となりました。高い年代の方のほうがより肯定的意見の回答が多い結果となりました。

**問14 あなたは、以前に比べ、防犯に対し意識をもったと感じますか。**

1. 意識をもつようになった
2. どちらかといえば意識をもつようになった
3. 以前と変わらない
4. とくに必要と感じない

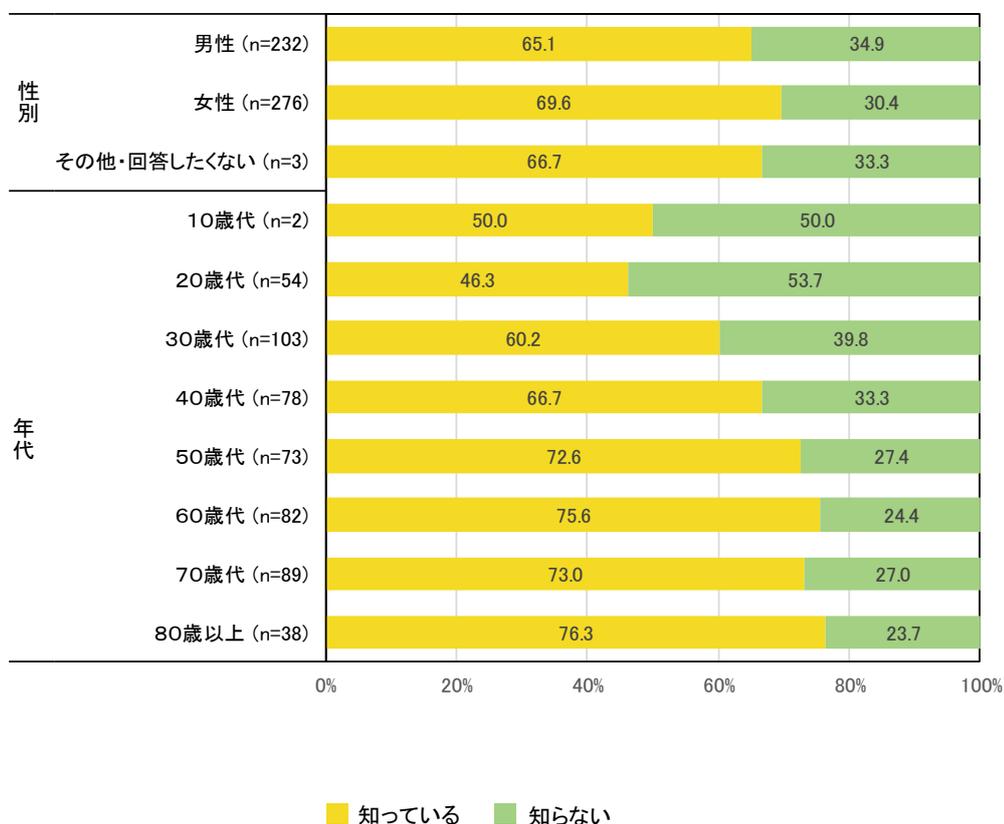
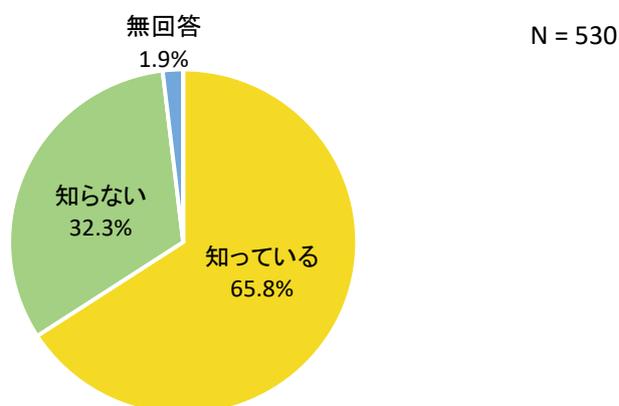


全体では「意識をもつようになった」と回答された方の割合が最も多く33.0%でした。次いで多かったのが「どちらかといえば意識をもつようになった」と回答された31.5%となりました。両方をあわせた肯定的意見の割合は64.5%となり、6割を超える結果となりました。

また肯定的意見を年代別で見ると、どの世代でも過半数を超え、住民の防犯への意識が高まっていることがわかります。

問15 あなたは、近くの避難場所はどこかを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

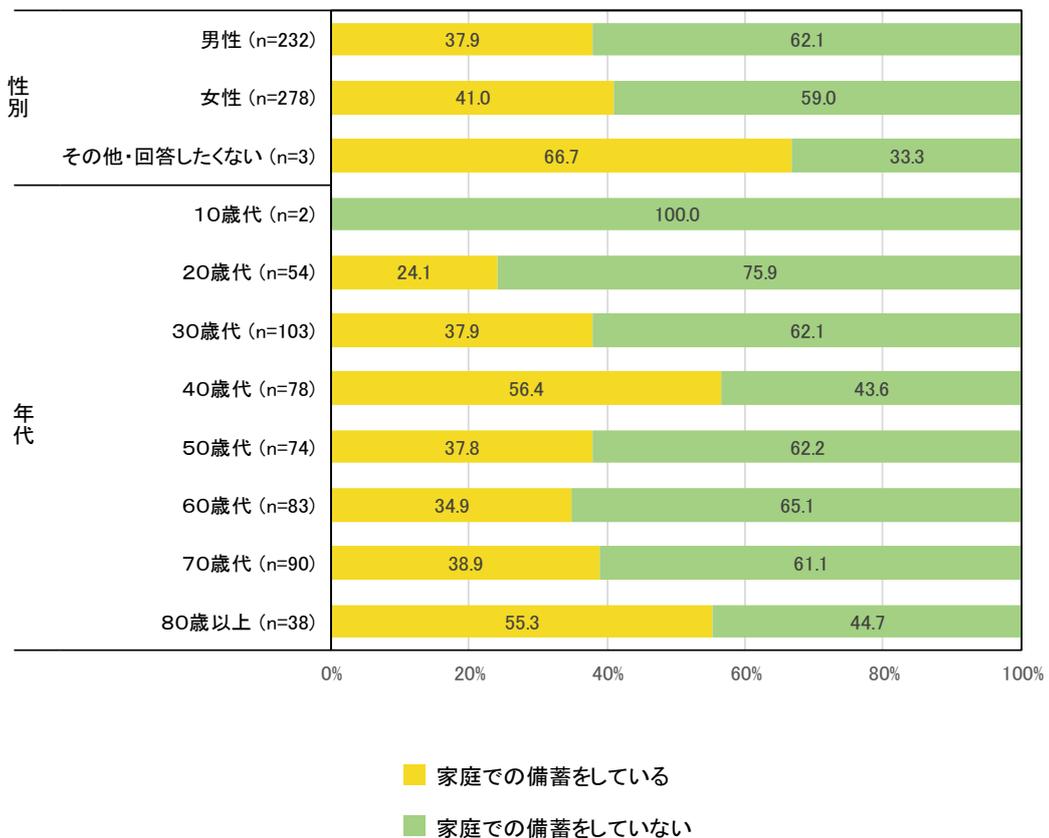
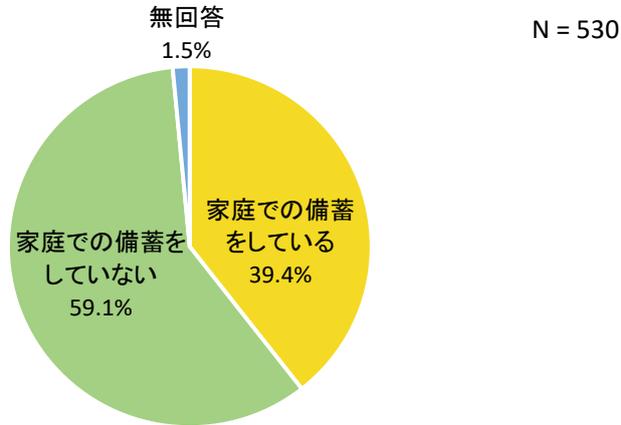


全体では「知っている」と回答された方の割合が65.8%と、肯定的意見の割合が6割を超える結果となりました。

また年代別で見ると、50歳代以上で「知っている」と答えた方は7割を超え、高い年代の方のほうがより多く避難場所を認識している結果となりました。

問16 あなたは、いざという時に備えて、ご家庭で備蓄物資を準備していますか。

1. 家庭での備蓄をしている      2. 家庭での備蓄をしていない

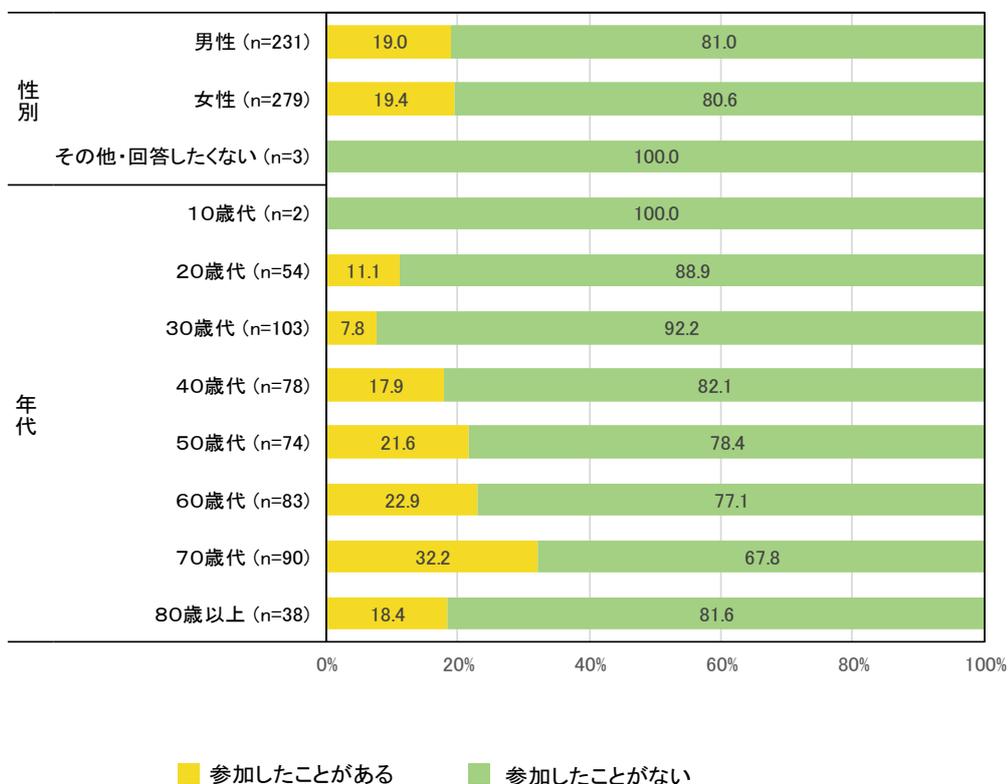
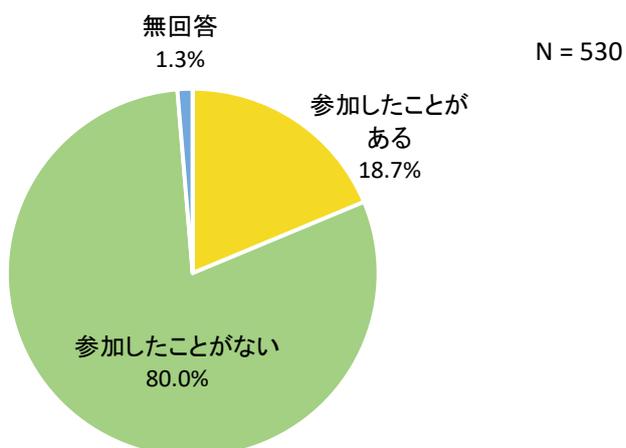


全体では「家庭での備蓄をしている」と回答された方の割合が39.4%、「家庭での備蓄をしていない」と回答された方の割合が59.1%でした。

また年代別で見ると「家庭での備蓄をしている」と回答された最も多い年代は40歳代で56.4%となり、次いで多かったのが80歳以上で55.3%となり、2つの年代で過半数以上の方が家庭での備蓄をしているという結果となりました。

**問17 あなたは、防災訓練に参加したことがありますか。**

1. 参加したことがある (→ 問18へ)    2. 参加したことがない (→ 問19へ)



全体では「参加したことがある」と回答された方の割合が18.7%と2割近くの方が参加した経験があるという結果になりました。

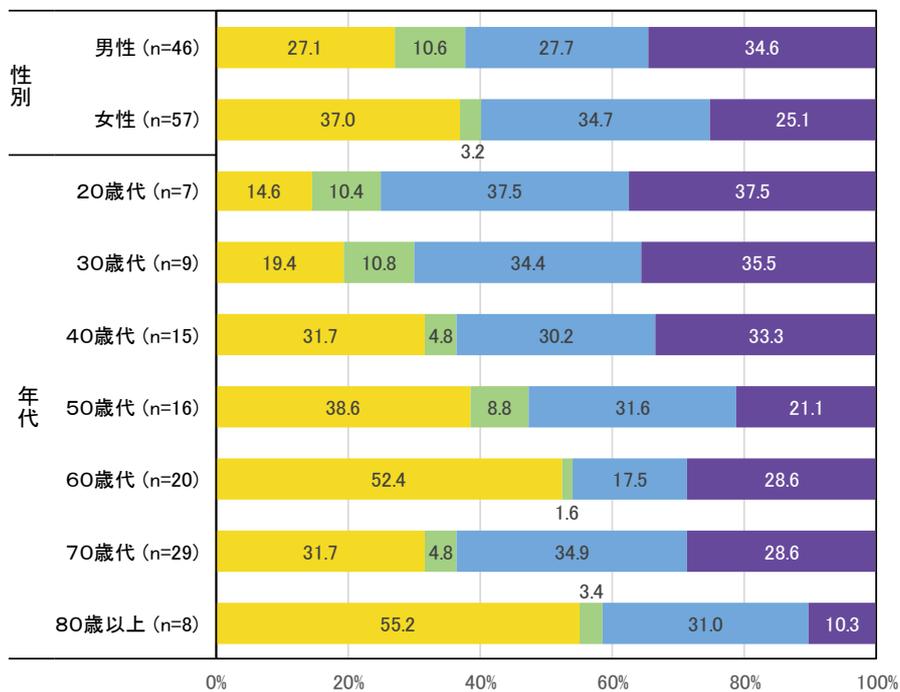
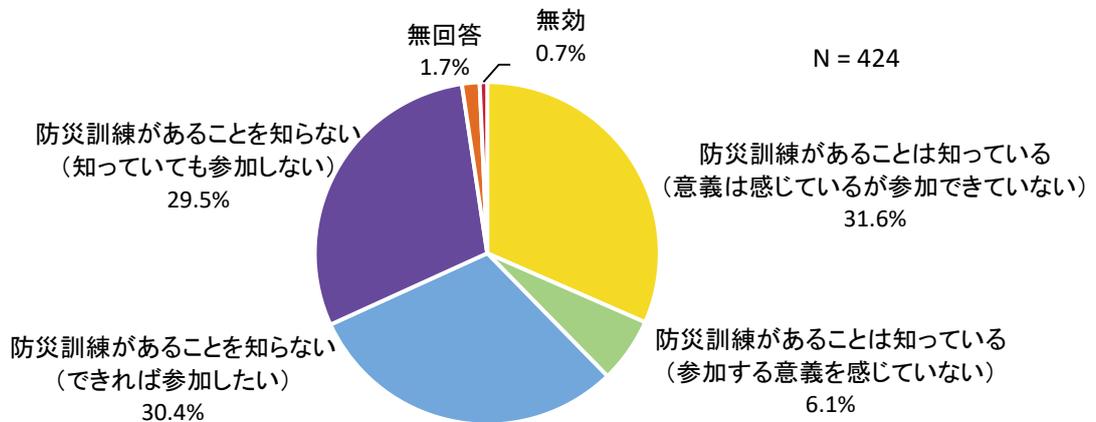
また性別で見ても、男女で大きな差異はない結果となりました。年代別で見ると70歳代の方が32.2%と最も多く、次いで多かったのが60歳代の方が22.9%となり、高い年代の方のほうがより多く防災訓練に参加した経験が多い結果となりました。



問19 問17で「2.参加したことがない」とお答えの方へおうかがいします。

あなたは、防災訓練があることを知っていますか。

1. 防災訓練があることは知っている（意義は感じているが参加できていない）
2. 防災訓練があることは知っている（参加する意義を感じていない）
3. 防災訓練があることを知らない（できれば参加したい）
4. 防災訓練があることを知らない（知っているも参加しない）



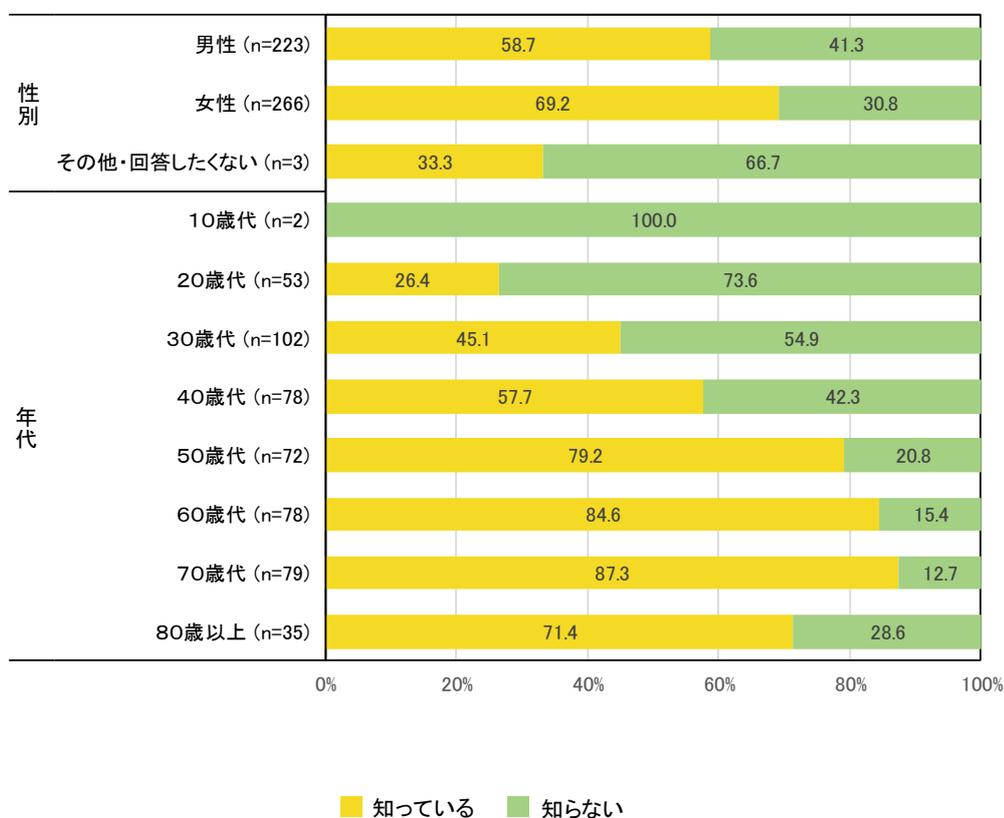
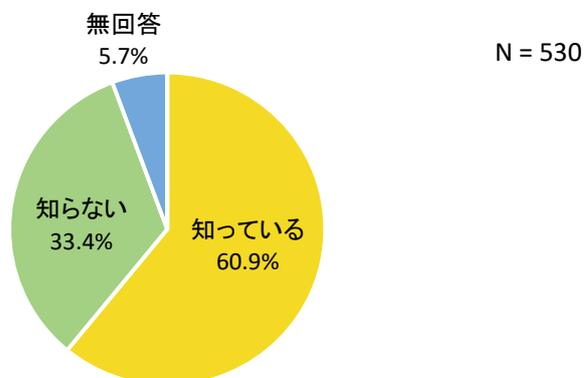
- 防災訓練があることは知っている（意義は感じているが参加できていない）
- 防災訓練があることは知っている（参加する意義を感じていない）
- 防災訓練があることを知らない（できれば参加したい）
- 防災訓練があることを知らない（知っているも参加しない）

全体では「防災訓練があることは知っている(意義を感じているが参加できていない)」と回答された方の割合が最も多く、31.6%となりました。次いで多かったのが「防災訓練があることを知らない(できれば参加したい)」と回答された30.4%となり、防災訓練の意義や参加意欲を感じている意見が6割を超える結果となりました。

## 5. 健康診断について

問20 あなたは、40歳以上の方が、毎年無料で特定健診(基本的な健康診断)を受診できることを知っていますか。

1. 知っている (→問21へ)    2. 知らない



全体では「知っている」と回答された方の割合が多く、60.9%となりました。  
 また年代別で見ると、40歳代以上の年代で「知っている」と回答された方が5割を超える結果となり、また50歳代以上では7割を超える結果となりました。  
 無料で特定健診を受けることが出来る対象の年代には広く認知されていることがわかりました。

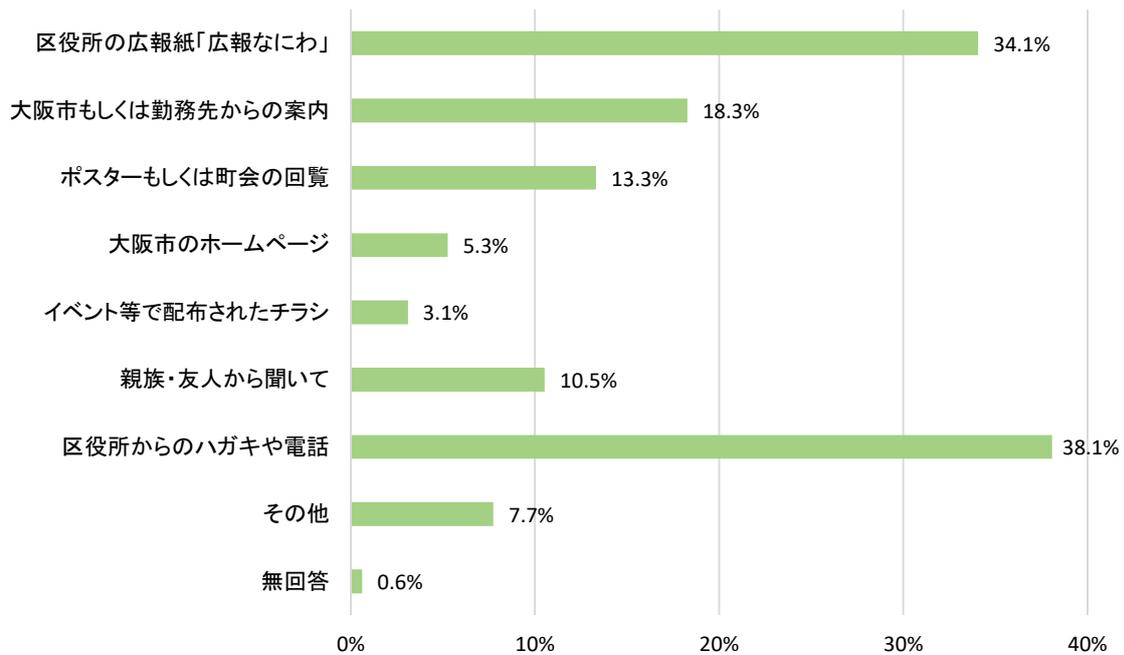
問21 問20で「1.知っている」とお答えの方へおうかがいします。

あなたは、その情報を何でお知りになりましたか。

(※あてはまるものすべてお選びください。)

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. 区役所の広報紙「広報なにわ」 | 2. 大阪市もしくは勤務先からの案内 |
| 3. ポスターもしくは町会の回覧  | 4. 大阪市のホームページ      |
| 5. イベント等で配布されたチラシ | 6. 親族・友人から聞いて      |
| 7. 区役所からのハガキや電話   |                    |
| 8. その他 ( )        |                    |

N = 423



全体で423件の回答がありました。「区役所からのハガキや電話」と回答された方の割合が最も多く、38.1%となりました。次いで多かったのが「区役所の広報紙「広報なにわ」と回答された34.1%となり、区役所からの情報発信によって区民の方が情報を得ていることがわかりました。

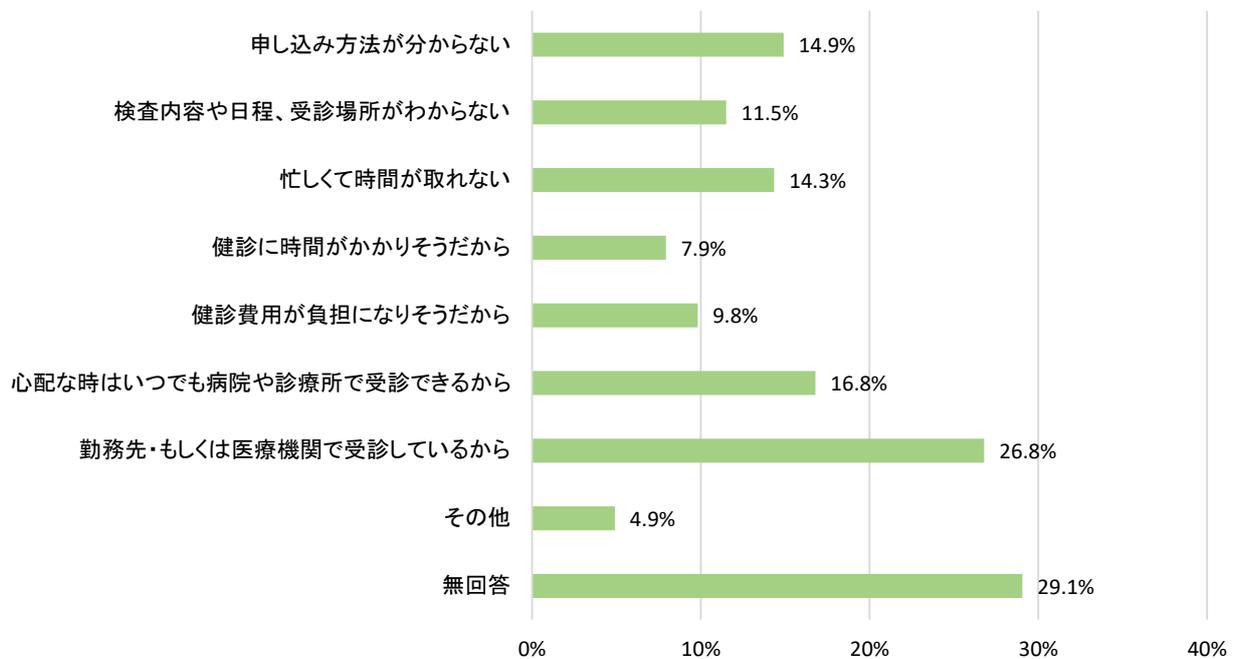
5. その他で頂いた解答

書類が送られてくる。
職業柄。
国民健康保険から1年に1回送付されている。
大阪市国民健康保険からのお知らせ。
区役所に行った際、見た気がする。
新聞毎月発行(毎月1日)。
特定健診受診票。
健診の用紙が家に届く。
病院等にて。
病院の広報で。
会社、組合より案内。
保健所からの知らせ。
忘れた。
窓口でのポスター掲示。
授業で習った。
TV。
ネットニュース。
年金(社会保険)に同封されている。
仕事上。

**問22** 大阪市のがん検診や特定健診を受診したことがない方におうかがいします。  
**あなたが、健康診断を受診されない理由をお聞かせください。**  
 (※あてはまるものすべてお選びください。)

1. 申し込み方法が分からない
2. 検査内容や日程、受診場所がわからない
3. 忙しくて時間が取れない
4. 健診に時間がかかりそうだから
5. 健診費用が負担になりそうだから
6. 心配な時はいつでも病院や診療所で受診できるから
7. 勤務先・もしくは医療機関で受診しているから
8. その他 ( )

N = 721



全体で721件の回答がありました。「無回答」を除くと「勤務先・もしくは医療機関で受診しているから」と回答された方の割合が最も多く、26.8%となりました。次いで多かったのが「心配な時はいつでも病院や診療所で受診できるから」と回答された16.8%となり、健康診断を受診しない方でも、4割以上の方がいつでも医療機関に受診で出来る環境にあるという結果となりました。

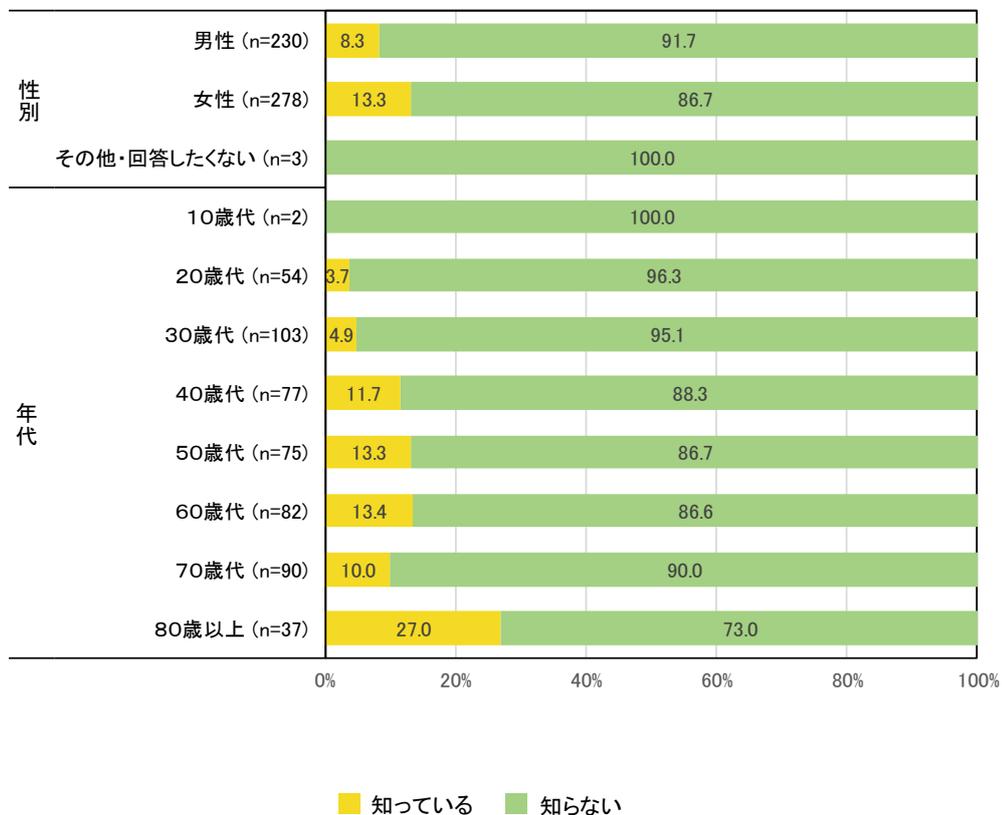
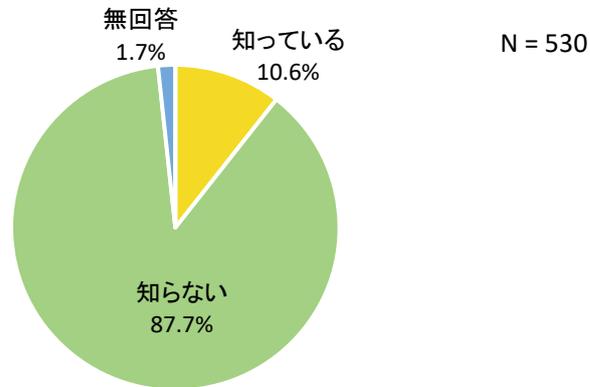
5. その他で頂いた解答

引っ越してきたばかりだから。今後は受診したい為、充実させてくれるととても嬉しい。
定例的な健診。効果的な健診を希望します。
知らないから。
対象年齢でないため。
すでにかかりつけ医院で受診している。
一生なおらない病気で通院にて検査等を続けてるから
自分の健康はなるべく自分で意識して気を付ける様にしている。
色々な健康の情報に目を向け、食事・運動など、なるべく、明るく振舞いストレスを溜めない様に心掛けています。
毎月病院へ1回行くから。
がんだと思っていないから。
手続きが大変そう。
高齢者のように税金を湯水のごとく使いたくない。
めんどくさい。
いった事があります。今は病院で行っている。
定期的に自己の都合に合わせ受診。
子どもを預けなければならない。
忘れていた。
20代は、どの内容を受診すべきか分からないため。
健診日程と休みが合わない。
対象者ではない。

## 6. Aケアカードについて

**問23** 医療と介護の従事者が、カード加入者の情報を共有することで、より適切な診療やアドバイス、介護サービスを提供できるAケアカードのシステムが2年前に浪速区で始まりました。あなたは、Aケアカードを知っていますか。

1. 知っている (→問24へ)    2. 知らない



全体では「知っている」と回答された方の割合が10.6%という結果になりました。年代別で見ると、「知っている」と回答された方は、80歳以上の方が最も多く、27.0%という結果となり、また40歳代以上の方は10%以上の方に認知されているという結果となりました。

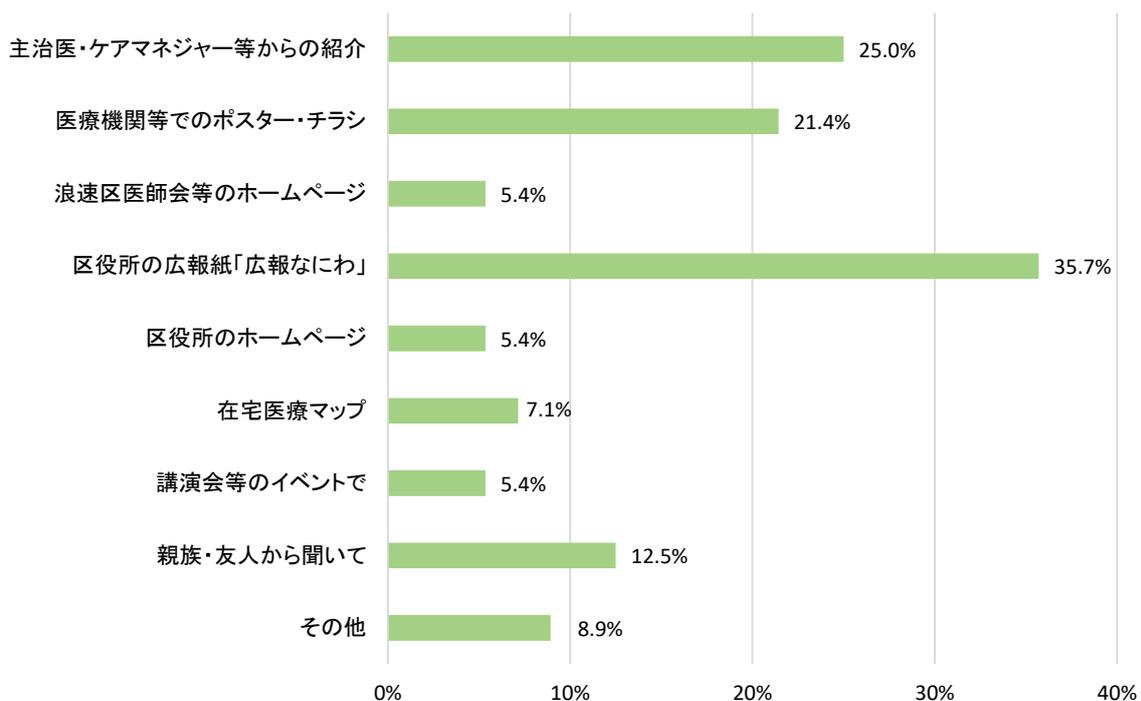
問24 問23で「1.知っている」とお答えの方へおうかがいします。

あなたが、その情報を何でお知りになりましたか。

(※あてはまるものすべてお選びください。)

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 主治医・ケアマネジャー等からの紹介 | 4. 区役所の広報紙「広報なにわ」 |
| 2. 医療機関等でのポスター・チラシ   | 6. 在宅医療マップ        |
| 3. 浪速区医師会等のホームページ    | 8. 親族・友人から聞いて     |
| 5. 区役所のホームページ        |                   |
| 7. 講演会等のイベントで        |                   |
| 9. その他 ( )           |                   |

N = 71



全体で71件の回答がありました。「区役所の広報紙「広報なにわ」と回答された方の割合が最も多く、35.7%となりました。

また区役所のホームページや在宅医療マップなど、区の広報媒体でお知りになったという回答を合わせると48.2%となり、5割前後の方が区役所の多種多様な広報活動によりAケアカードを知ったという結果となりました。

5. その他で頂いた解答

ケースワークの人に聞いて。
---------------

家族会にて保健師の方から。
---------------

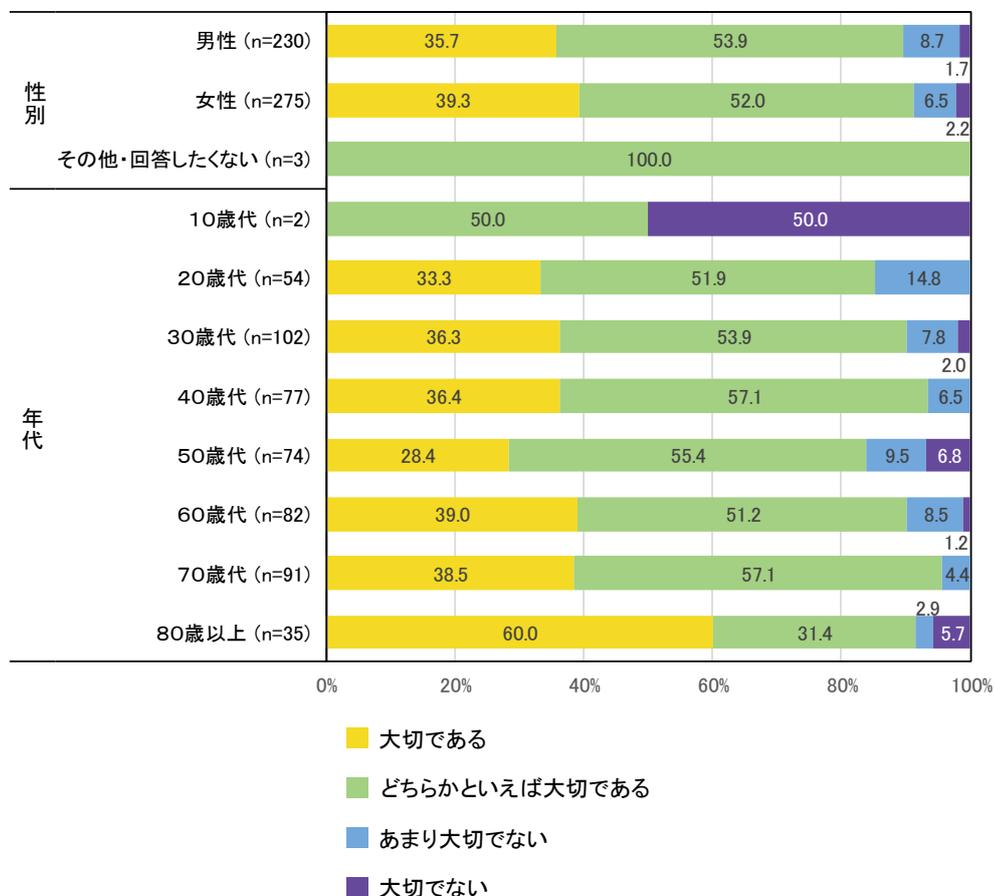
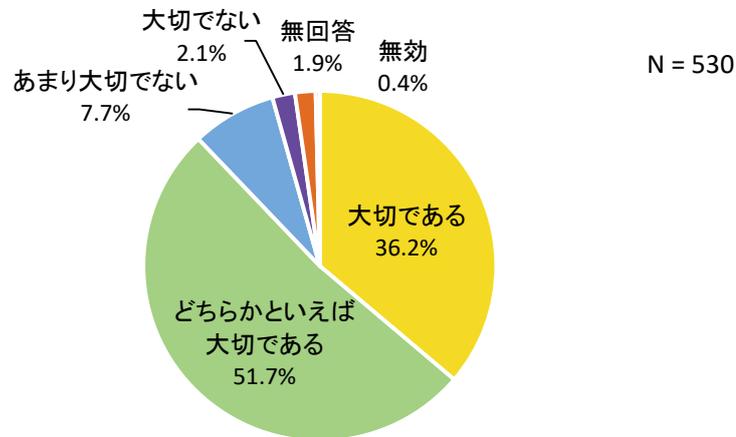
仕事柄。
------

テレビで見聞きしたように思います。
-------------------

## 7. 地域コミュニティ・地域活動について

問25 あなたは、地域での住民同士の「つながり」や「きずな」について、どのようにお考えですか。

1. 大切である
2. どちらかといえば大切である
3. あまり大切ではない
4. 大切ではない

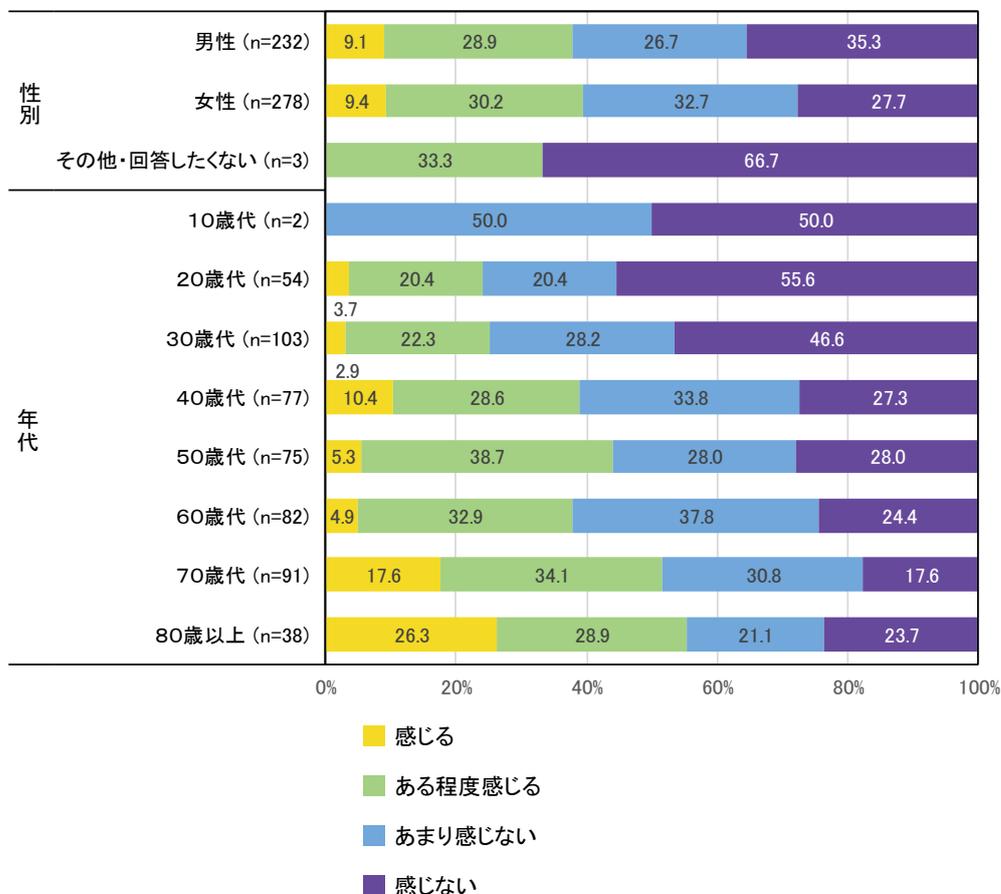
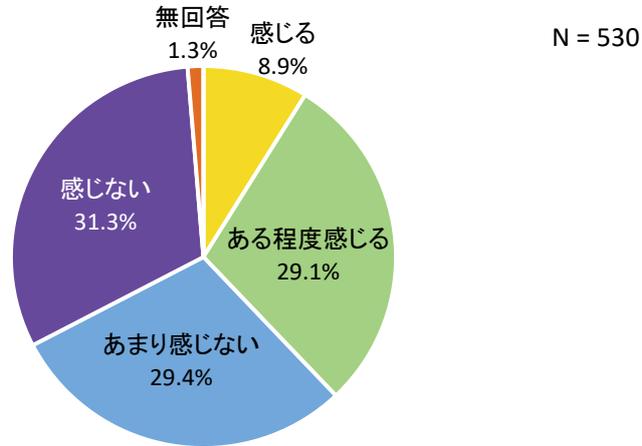


全体では「どちらかといえば大切である」と回答された方の割合が最も多く、51.7%と過半数を超える結果となりました。次いで多かったのが「大切である」と回答された36.2%となり、両方をあわせた肯定的意見の割合は87.9%と、9割近い結果となりました。

また肯定的意見を年代別で見ると、母数の少ない10歳代を除き、どの年代でも8割を超えるという結果となりました。

問26 あなたがお住まいの地域では、日ごろから、ご近所どうして「声かけ」、「見守り」「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じますか。

1. 感じる
2. ある程度感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

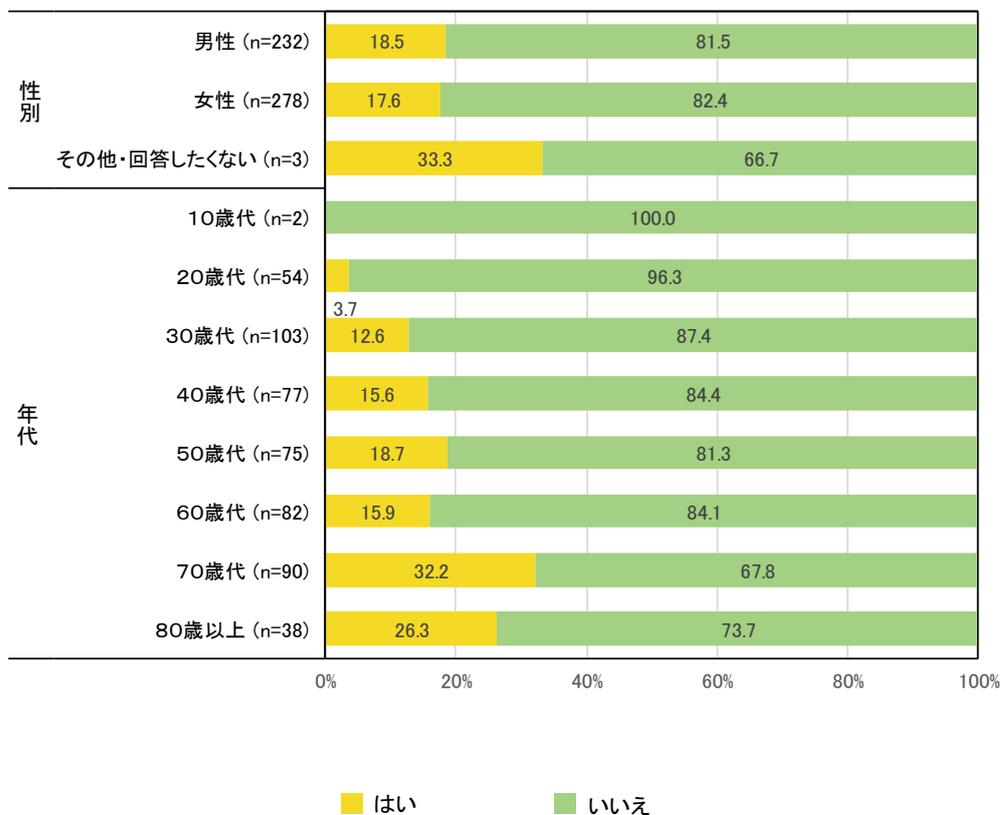
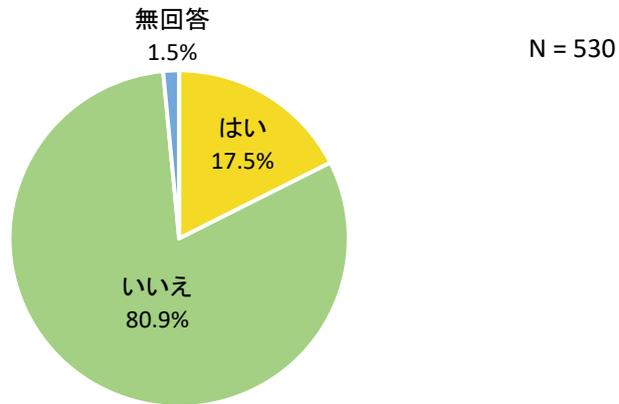


全体では「感じる」と「ある程度感じる」という肯定的意見の割合は38.0%と4割近い結果となりました。また年代別で見ると高い年代の方ほど、肯定的意見の割合が増えていき、80歳以上の方が最も多く55.2%となりました。

**問27 あなたは、地域活動に参加していますか。**

※活動の例： 防災訓練や歳末夜警、高齢者や子ども向けのイベント、見守り、清掃活動、地域の祭りなど

1. はい                      2. いいえ（→問28へ）



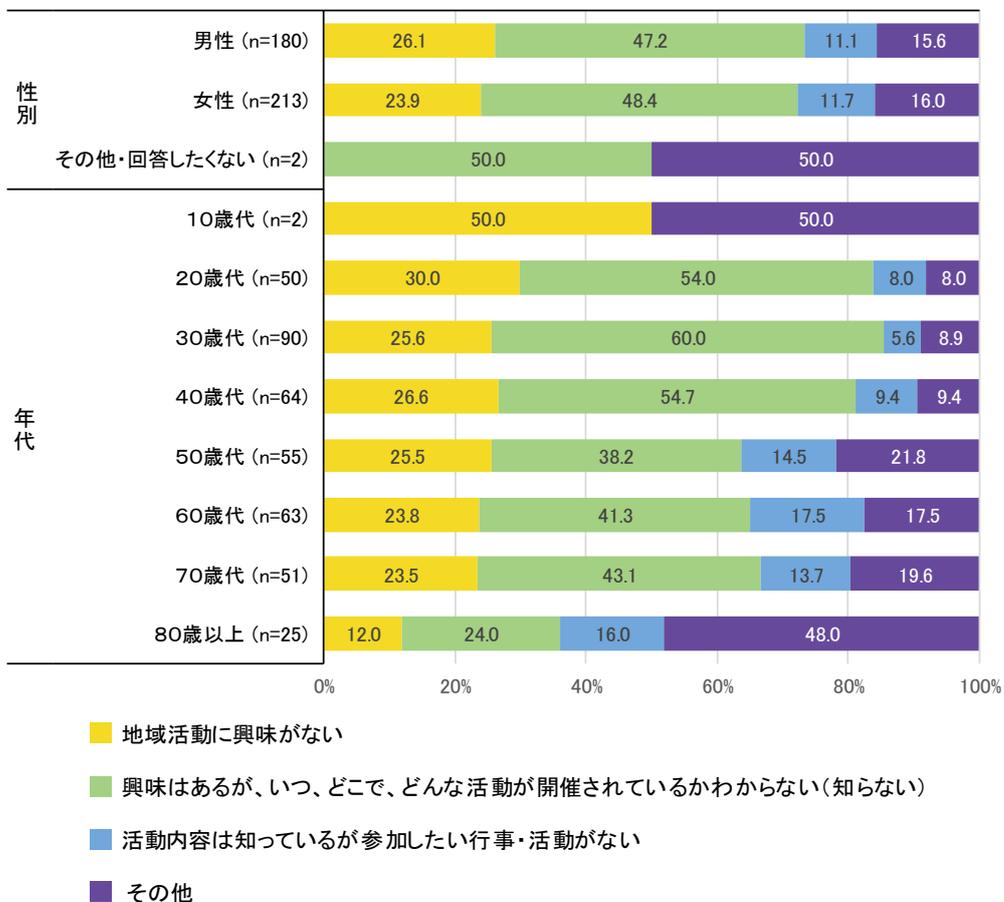
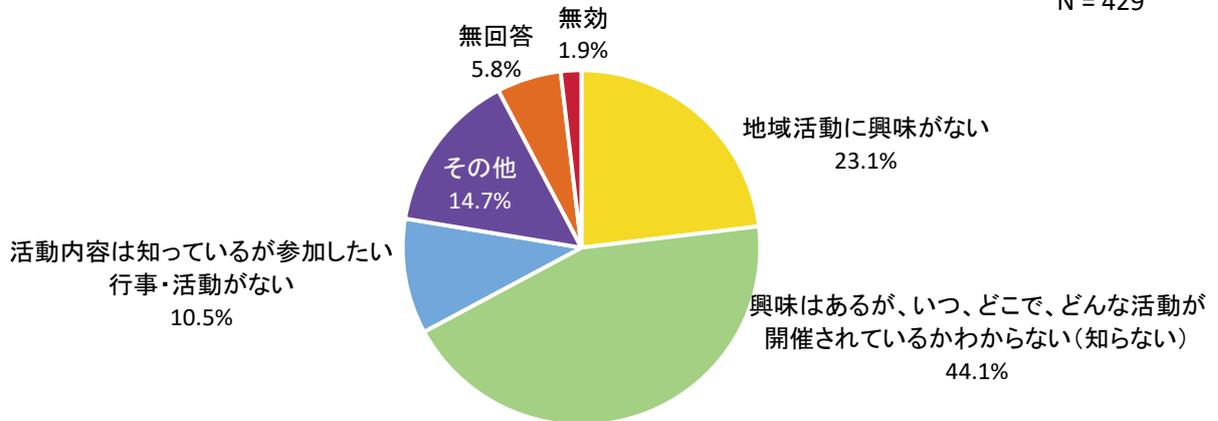
全体では「はい」と回答された方の割合は17.5%という結果となり、「いいえ」と回答された方の割合は80.9%となりました。

また年代別で見ると70歳代の方が32.2%と最も多く、次いで多かったのが80歳以上の方が26.3%となり、70歳代以上の年代では2割以上の方が地域活動に参加しているという結果となりました。

**問28** 問27で「2.いいえ」とお答えの方へおうかがいします。  
**あなたが、地域活動に参加されない理由をお聞かせください。**

1. 地域活動に興味がない
2. 興味はあるが、いつ、どこで、どんな活動が開催されているかわからない(知らない)
3. 活動内容は知っているが参加したい行事・活動がない
4. その他 ( )

N = 429



全体では「興味はあるが、いつ、どこで、どんな活動が開催されているかわからない」と回答された方の割合が最も多く44.1%となりました。

また年代別で見ると20歳代から40歳代の方で「興味はあるが、いつ、どこで、どんな活動が開催されているかわからない」と回答された方の割合が5割を超える結果となりました。

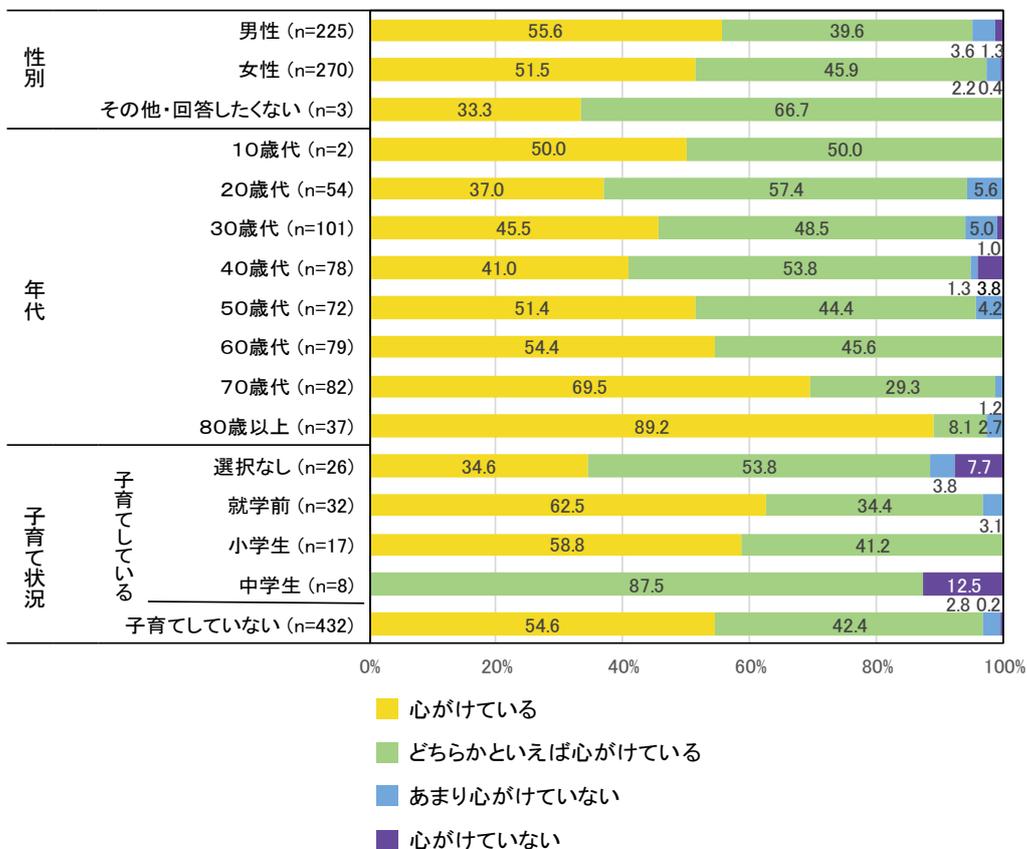
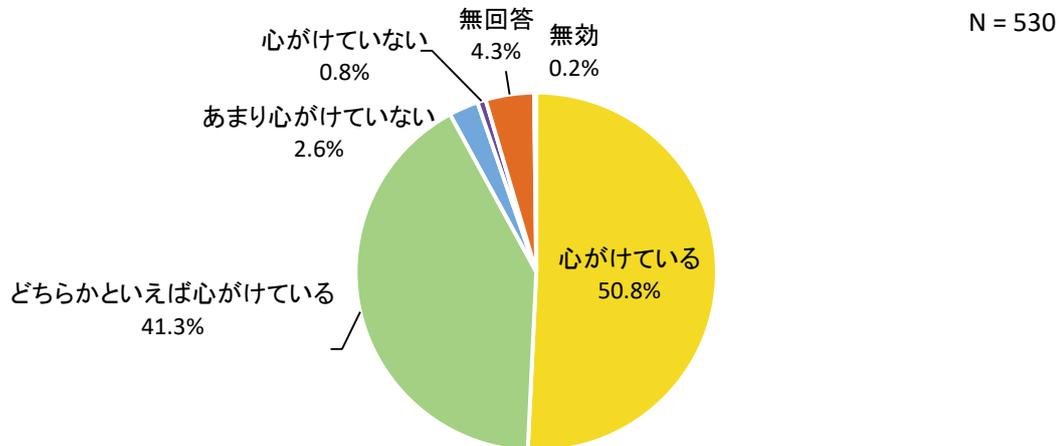
#### 4. その他で頂いた解答

主人がいるので参加出来ない。
仕事で時間がない。
体があまり強くない。
時間がない。
仕事があるので参加できないし、今の町内会の人達が誰か分からない。
介護している為。
特に理由は有りません。
仕事で出れない。
体が自由に動けない。
子どもがいないので参加するきっかけがない。
マンションのため自治会には行ってない。
高齢の為。
自分の病気、介護生活で目いっぱい。
これ以上迷惑をおかけしない様日々を過ごすので体も時間的にも難しいから。
時間が合わない。
今は忙しいので。
妻が出ている。
言語の問題。そして今は、忙しい。
不用意に参加することで保護者等から不審者として通報されることを防ぐ為。
人間関係が苦手で、他人と関わりたくない。
勉強をせねばならないのか。
逆に迷惑をかけるから。
活動主体が自己の利益で活動しているので参加協力しない。
でにくい
学業で忙しい。時間がない。

## 8. 交通安全について

問29 あなたは、日頃から交通ルールを守ることを意識し、心がけていますか。

1. 心がけている
2. どちらかといえば心がけている
3. あまり心がけていない
4. 心がけていない



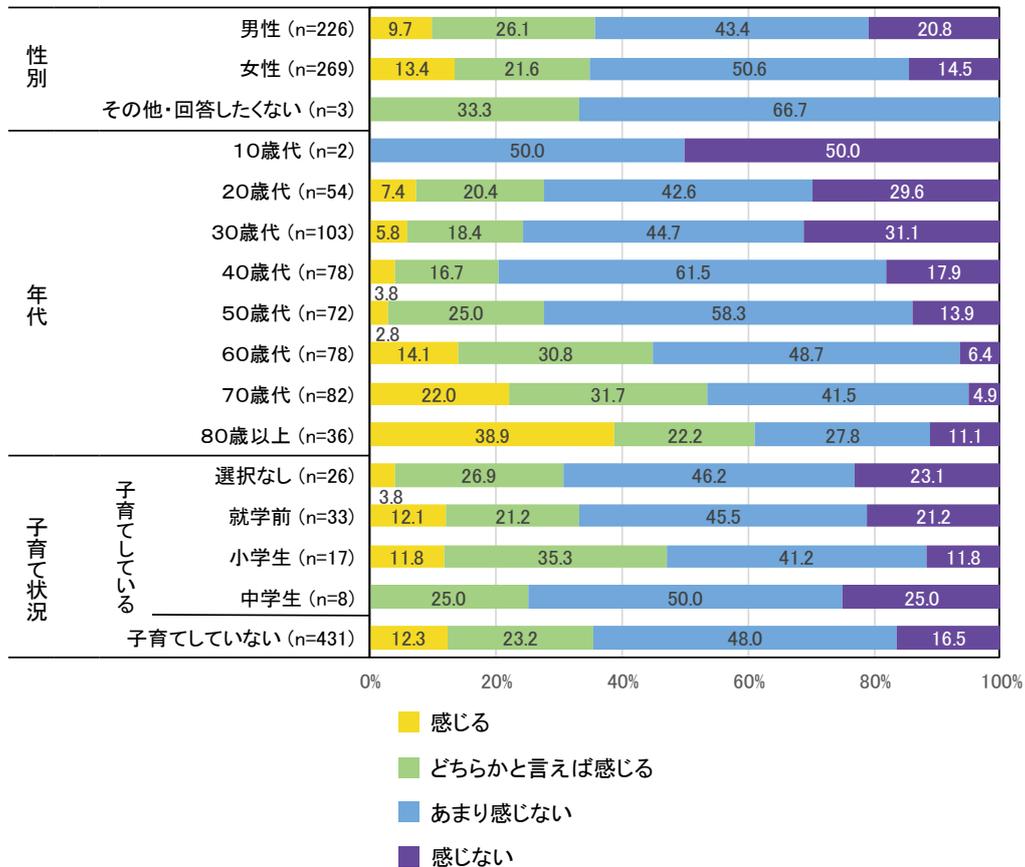
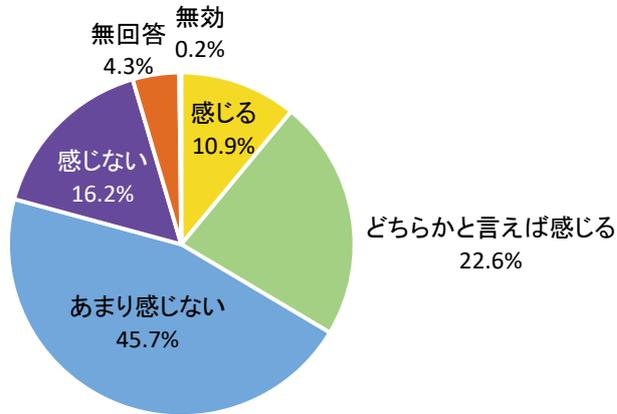
全体では「心がけている」と回答された方の割合が最も多く、50.8%と過半数を超える結果になりました。次いで多かったのが「どちらかといえば心がけている」と回答された41.3%となり、両方をあわせた肯定的意見の割合は92.1%となり、9割近い結果となりました。

また肯定的意見を年代別で見ると、どの年代でも8割を超える結果となり、交通ルールを守ることを意識し、心がけている方が多いという結果となりました。

問30 あなたは、区役所が地域や警察署などと協力して行っている交通安全大会や街頭啓発活動などを通じて、区民の交通安全に関する意識が高まっていると感じますか。

1. 感じる
2. どちらかと言えば感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

N = 530



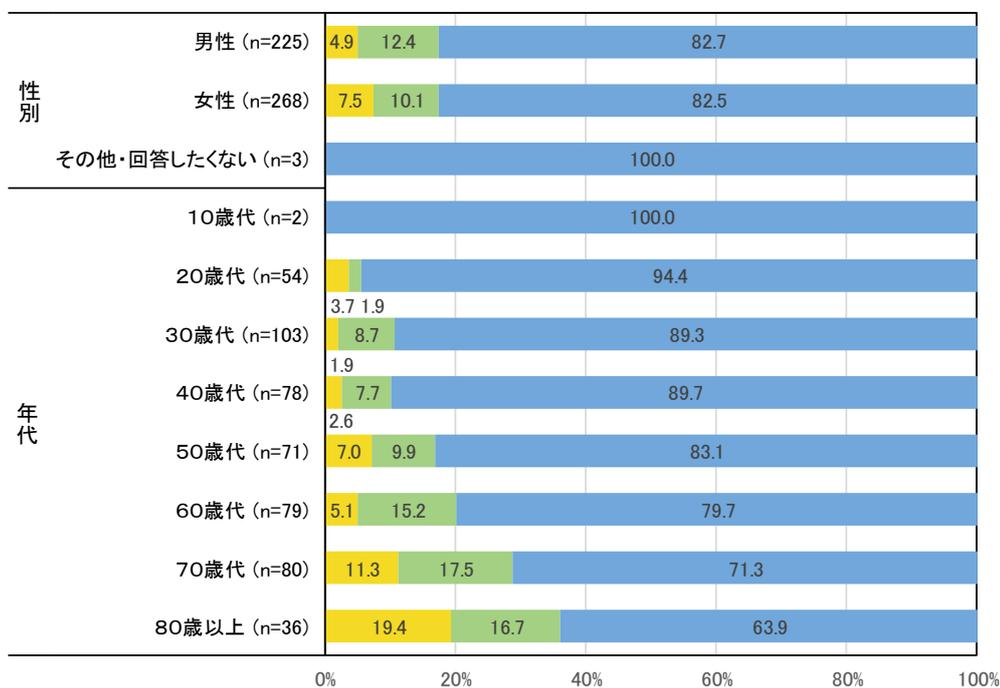
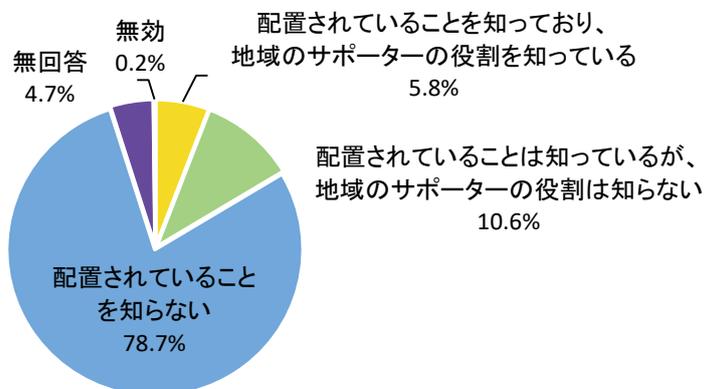
全体では「感じる」と「どちらかと言えば感じる」という肯定的意見の割合は33.5%という結果となりました。また年代別で見ると40歳代を境に高い年代の方になるほど、肯定的意見の割合が増えていき、80歳以上の方が最も多く61.1%となりました。

9. 福祉事業について

問31 平成30年度から新たに、地域の身近な相談窓口として「地域福祉サポーター」を配置していることをご存知ですか。

1. 配置されていることを知っており、地域のサポーターの役割を知っている
2. 配置されていることは知っているが、地域のサポーターの役割は知らない
3. 配置されていることを知らない

N = 530



- 配置されていることを知っており、地域のサポーターの役割を知っている
- 配置されていることは知っているが、地域のサポーターの役割は知らない
- 配置されていることを知らない

全体では地域の身近な相談窓口として「地域福祉サポーター」を配置していることを知っていると回答された方の割合は16.4%となりました。

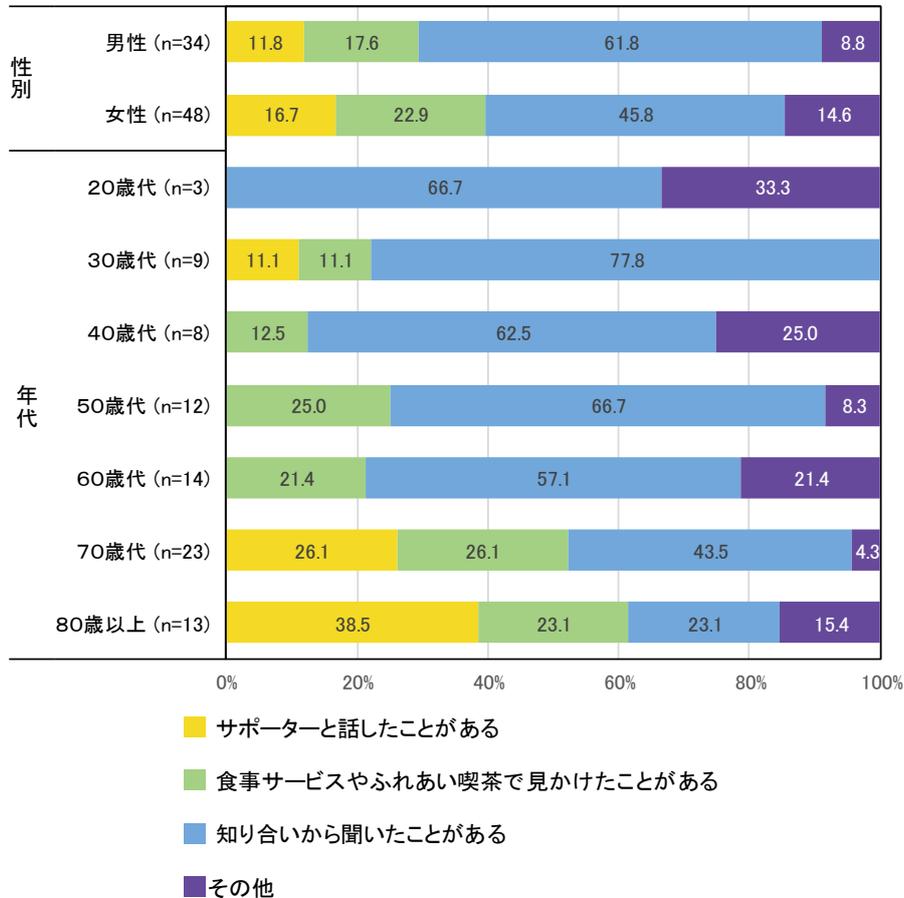
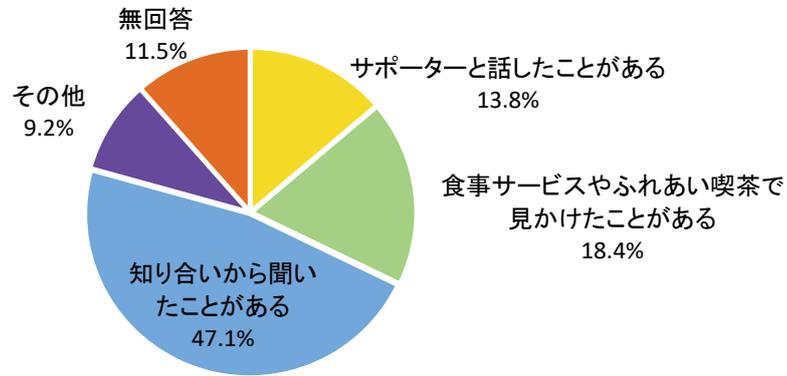
また年代別で見ると、年を重ねるごとに認知度が上がり、80歳以上の方が最も多く、36.1%の方が認知しているという結果となりました。

問32 「配置されていることを知っている」とお答えの方にお聞きします。

どこでお知りになりましたか。

1. サポーターと話したことがある
2. 食事サービスやふれあい喫茶で見かけたことがある
3. 知り合いから聞いたことがある
4. その他 ( )

N = 87



全体で87件の回答がありました。「知り合いから聞いたことがある。」と回答された方の割合が最も多く、47.1%となりました。

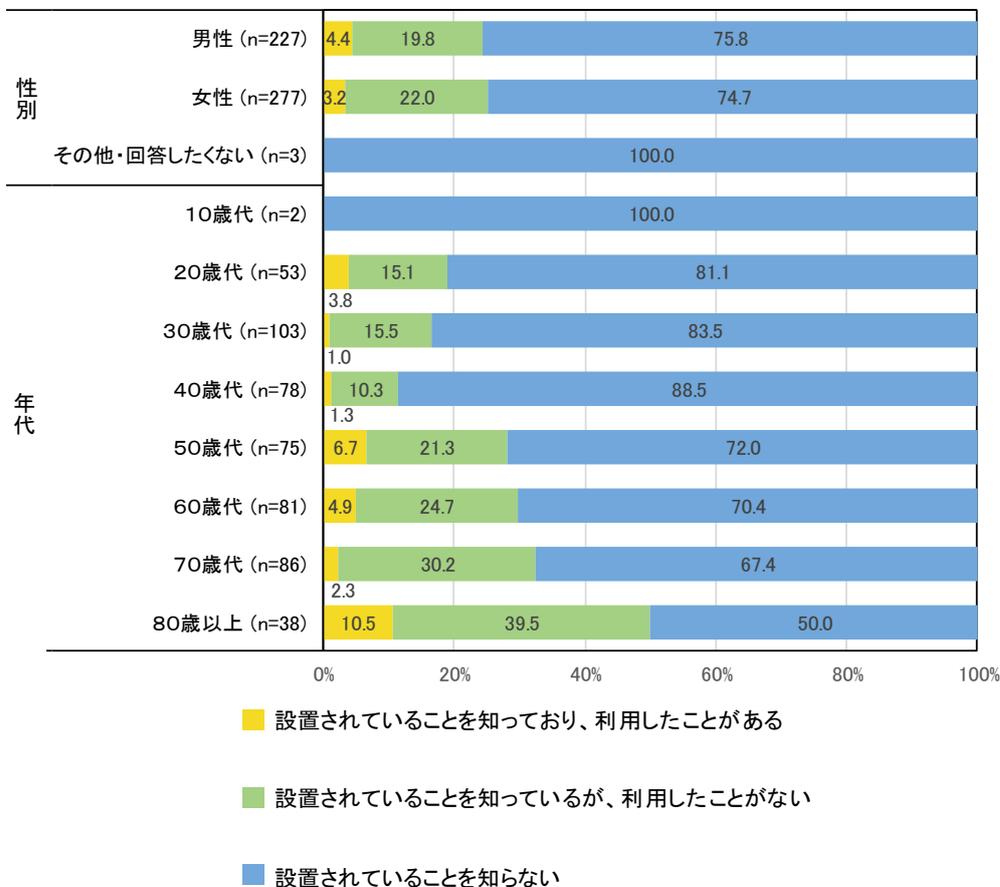
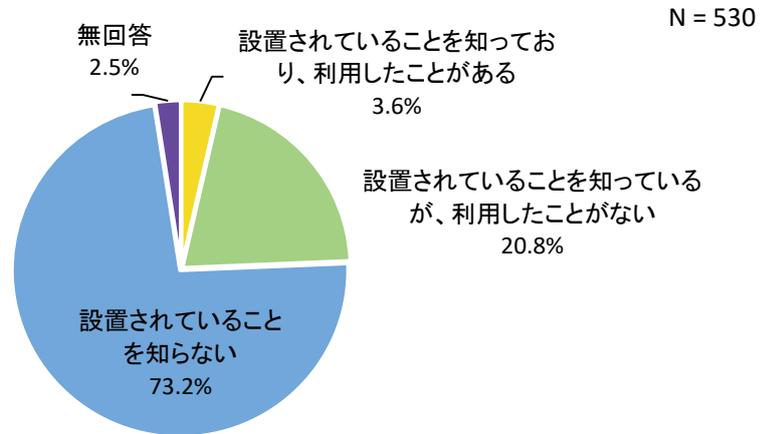
また年代別で見ると「サポーターと話したことがある。」や「食事サービスやふれあい喫茶で見かけたことがある。」という回答をされた方は80歳以上の方が最も多く61.6%となりました。

4. その他で頂いた解答

ボランティアグループ活動しているから。
新聞のチラシで見えています。
ふれあい喫茶に参加しているが知らなかった
何も行けない。歩いては行けない。
配布物？
知識として
情報誌より

**問33 浪速区役所1階では、暮らしのお困りごとの相談窓口として「くらしサポートセンターなにわ」が設置されていますが、ご存知ですか？**

1. 設置されていることを知っており、利用したことがある
2. 設置されていることを知っているが、利用したことがない
3. 設置されていることを知らない



全体では「くらしサポートセンターなにわ」が設置されていることを知っていると回答された方の割合は24.4%となりました。

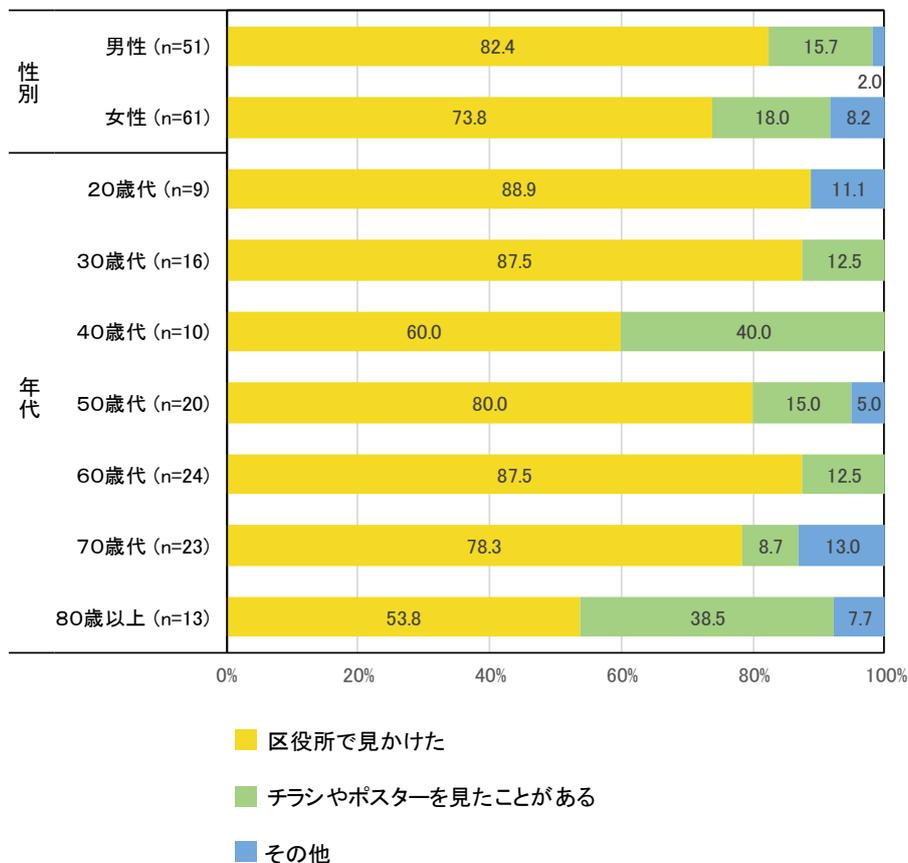
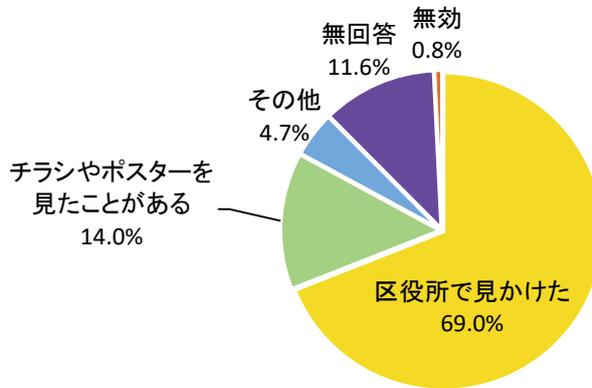
また年代別で見ると、年を重ねるごとに認知度が上がり、80歳以上の方が一番多く、50.0%の方が認知しているという結果となりました。

問34 「設置されていることを知っている」とお答えの方にお聞きます。

どこでお知りになりましたか。

1. 区役所で見かけた
2. チラシやポスターを見たことがある
3. その他 ( )

N = 129



全体で129件の回答がありました。「区役所で見かけた」と回答された方の割合が最も多く、69.0%という結果となりました。

また年代別で見ると、どの世代でも「区役所で見かけた」と回答された方の割合が最も多い一方で、40歳代と80歳以上では「チラシやポスターを見たことがある。」という回答をされた方が4割前後という結果となりました。

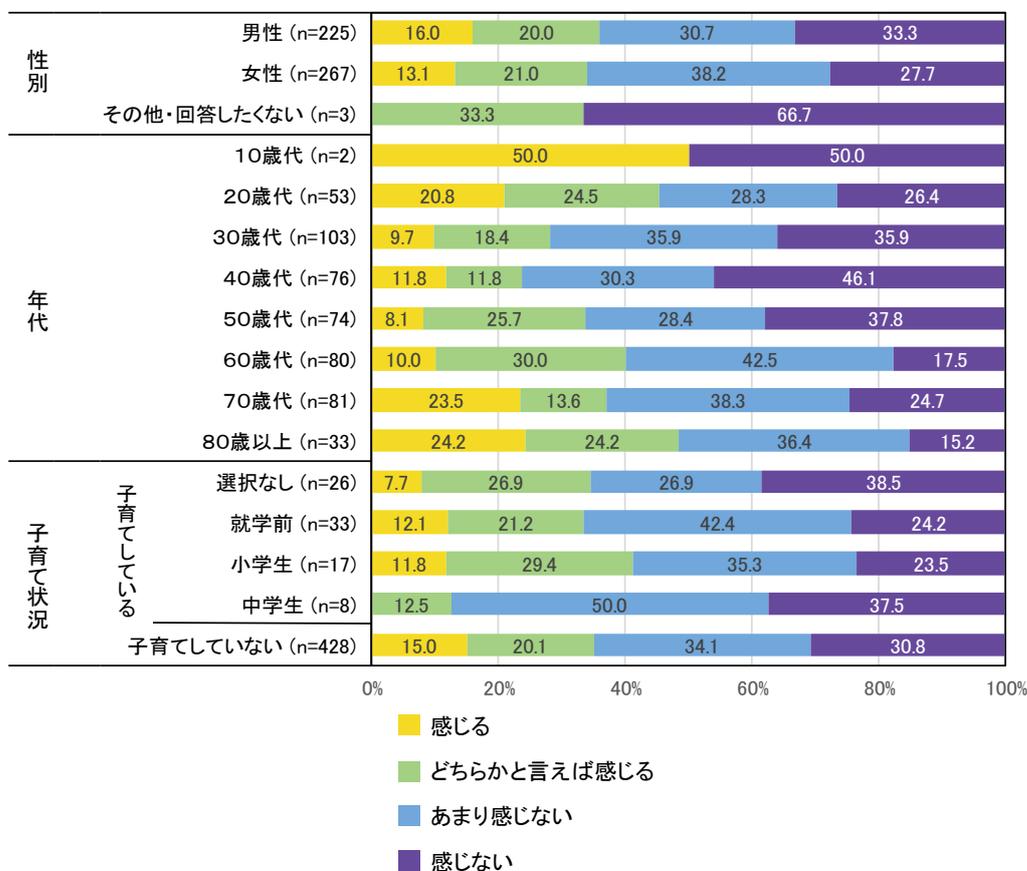
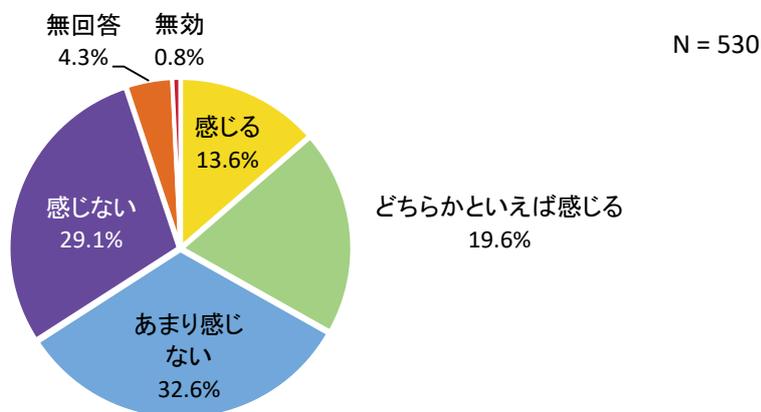
3. その他で頂いた解答

友人から。
友達に聞いた。
インターネット。
息子から(町会の役員)。

8. 図書館の活性化について

問 35 あなたは、浪速図書館がまちの魅力のひとつだと感じますか？

- 1. 感じる
- 2. どちらかといえば感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 感じない



全体では「感じる」及び「どちらかといえば感じる」と肯定的意見に回答された方の割合が33.2%という結果となりました。一方で「あまり感じない」及び「感じない」と回答された方の割合は61.7%となりました。また年代別で見ると、母数の少ない10歳代を除くと、80歳以上で肯定的意見の割合が48.4%と最も多く、次いで多かったのが20歳代の45.3%となりました。



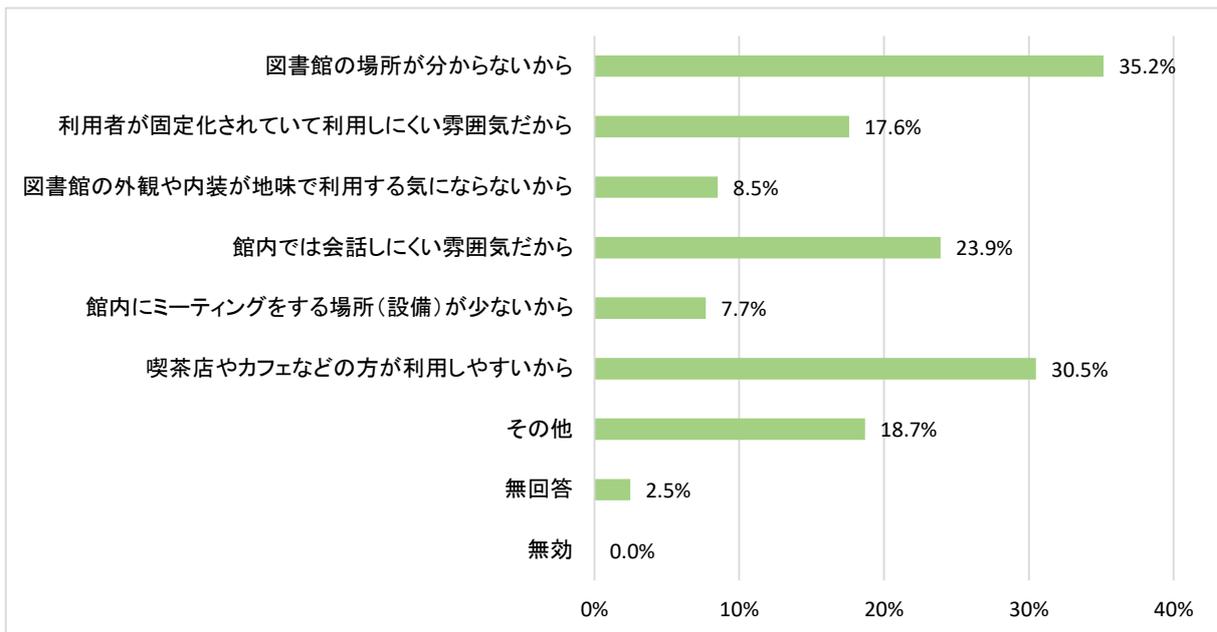


問38 問37で「2.思わない」とお答えの方へおうかがいします。

思わない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてお選びください)

1. 図書館の場所が分からないから
2. 利用者が固定化されていて利用しにくい雰囲気だから
3. 図書館の外観や内装が地味で利用する気にならないから
4. 館内では会話しにくい雰囲気だから
5. 館内にミーティングをする場所(設備)が少ないから
6. 喫茶店やカフェなどの方が利用しやすいから
7. その他 ( )

N = 526



全体で526件の回答がありました。「図書館の場所がわからないから」と回答された方の割合が最も多く、35.2%という結果になりました。次いで多かったのが「喫茶店やカフェなどの方が利用しやすいから」と回答された30.5%という結果になりました。

7. その他で頂いた解答

わかりません。
中央図書館を利用している。
行ったことがないので、どんな環境なのかわからない。
興味なし。
西区の図書館の方が近いから。
図書館はミーティングを行う場所ではない。本を読む、探す、場所であるため。
空気が重い。
主人の介護で動けない。
利用した事がないので、なんとも言えない。
ミーティングや打ち合わせがない。
参加する時間がないため。
打合せ等を行う機会がない。
多忙のため。
遠方。
自宅から遠い。
本来の図書館の使い方ではないから。
店番をしているから行くことができない。
図書館でないとダメなの？行った事ないです。
必要性がないので。
立地が悪い。
活動できない。
もっと新しい本を入れてほしい。
1人で動けないので。
よく分からない。
足が不自由で現状は無理なので。
図書は移動図書館を利用しており便利。
図書館自体利用したことがない。
図書館は読書する所、又は、本を借りる所だと思うから。
本来の業務である図書を増やしてほしい。
中央図書館に行くから。
市民活動の場所としては遠すぎて、小学校の方が利用しやすい。
それよりも地域の教育のシンクタンクとしての拠として活用すべき。
学校での地域教育があまりにも弱すぎ。
個人団体での使用等の、是非等がわからない。
あまり利用しませんが前に利用した時雰囲気が悪かった。
図書館の本類にさわりたくないんで私は行かない。
市民活動に興味がない。
その施設の運営するなら電子書籍化して経費削減を求める。
図書館でミーティングをするようなことがない。職場で充分。
病人の介護のため行けません。
家庭の行事以外でミーティングするような事がないので。あれば利用するかもしれない。
交流する事がない。
一人で参加するのがいや、知人がいない。
利用者の一人として あまり館内では会話をしてほしくないから。 (ミーティングルーム等の別室や仕切りの開放があれば問題ないです)
ミーティングや打ち合わせより、図書館では情報を仕入れる場所としての役目を果たして欲しいと思います。